

会 告 目 次

平成 4 年度論文賞の表彰	2
平成 4 年度 Best Author 賞の表彰	5
平成 4 年度坂井記念特別賞の表彰	7
研究発表会開催通知	8
第 49 回 ヒューマンインタフェース研究会	8
第 60 回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 } 合同研究会	9
第 61 回 マルチメディア通信と分散処理研究会	
第 93 回 ソフトウェア工学研究会	11
第 12 回 情報メディア研究会	12
第 96 回 自然言語処理研究会	13
第 63 回 グラフィクスと CAD 研究会	14
第 28 回 コンピュータと教育研究会	15
第 45 回 情報システム研究会	15
第 94 回 データベースシステム研究会	15
第 84 回 コンピュータビジョン研究会	18
第 30 回 情報学基礎研究会	18
平成 5 年度各種行事の予定について	21
第 47 回 全国大会予約案内	22
「コンピュータシステム・シンポジウム」の論文募集	24
「Groupware '93 シンポジウム」開催について	25
「DA シンポジウム '93」開催について	27
プログラミング・シンポジウムについて	31
第 26 回 情報科学若手の会シンポジウム開催のご案内	31
「連続 세미나 93」参加申込/議事録バックナンバー申込書	32
本会協賛等の行事案内	33
平成 5 年度会費・論文誌購読費の納入について (お願い)	33
マルチメディア通信と分散処理研究会 小規模国際会議	
「タイー日合同情報通信ネットワークワークショップ」論文募集	34
平成 5 年電気・情報関連学会連合大会の開催案内	35
支部だより	40
会 議 案 内	43
教 官 募 集	44
雑 報	46

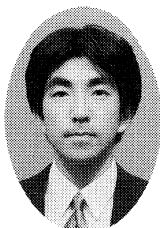
平成 4 年度論文賞の表彰

平成 4 年度情報処理学会論文賞は、同選定委員会（小林委員長ほか 49 名）において、「情報処理学会論文誌」第 32 巻第 10 号～第 33 巻第 9 号ならびに欧文誌「Journal of INFORMATION PROCESSING」Vol. 14, No. 3～Vol. 15, No. 2 に発表された 178 編につき慎重に審議が行われました。その結果下記 4 編が最終候補論文として推薦され、第 375 回理事会（平成 5 年 4 月）の承認をえて決定されました。

なお、本会表彰規程により、5 月 19 日に開催された第 35 回通常総会において、著者に表彰状、賞牌、賞金が授与されました。

○「一般の文脈自由文法に対する効率的な並列構文解析」

（論文誌 Vol. 32, No. 10, pp. 1225～1237 (1991)）



峯 恒憲君（正会員）

昭和 38 年生。昭和 62 年九州大学工学部情報工学科卒業。平成 4 年同大学院総合理工学研究科情報システム学専攻博士課程単位取得退学。同年、同大学教養部情報科学科講師。現在に至る。音声認識、並列自然言語処理の研究に従事。人工知能学会会員。



谷口倫一郎君（正会員）

昭和 30 年生。昭和 53 年九州大学工学部情報工学科卒業。昭和 55 年同大学院工学研究科修士課程修了。同年九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻助手。平成元年より同助教授。工学博士。画像理

解、画像処理システム、並列処理システムの研究に従事。電子情報通信学会、人工知能学会各会員。

〔論文概要〕

文脈自由文法の構文解析には、一般に長さ n の入力文に対して $O(n^3)$ の手間がかかる。したがって、実時間自然言語理解システムを開発するためには、まず $O(n)$ 時間で解析できる並列構文解析アルゴリズムを開発する必要がある。本論文では、LR 構文解析法をベースとした効率的な並列構文解析アルゴリズムを提案している。このアルゴリズムでは、一般の文脈自由文法から構成した LR 状態遷移図を解析制御表として使用し、すべての可能性を並列に試しながら入力に非同期に解析を行う。その解析能力は時間 $O(n)$ ・使用プロセッサ数 $O(n^2)$ であり、線形時間で解析できるという意味で最適なアルゴリズムと言える。

〔推薦理由〕

文脈自由文法に対する構文解析は、プログラミング言語のような制限された文法クラスのものであれば実用技術としてほぼ確立されている。しかし、自然言語解析などの場合は、制限されたクラスではおさまらず、一般の文脈自由文法を扱う必要が生じる。この場合の解析は、非常に難しい問題である。普通の解析方法では、 $O(n^2)$ の時間を必要とし、実用的とは言えない。

この論文では、新しい並列構文解析アルゴリズムを考案して、時間 $O(n)$ 、プロセッサ数 $O(n^2)$ で一般の文脈自由言語を解析できることを示している。これは、従来のアルゴリズムに比べて大幅な改良になっている。オーダ的には、事実上最適なアルゴリズムが得られたと言ってよい。さらに実験によって、プロセッサ数 n^2 にかかる係数が大きくならないことを確認しており、実際のアルゴリズムであることも実証されている。手法としては、LR 解析の考え方を利用しているが、実行時に重複動作を発見して無駄な作業を行わないようにしている点が新しい。この分野の今後の発展に寄与する重要な研究であり、論文賞受賞にふさわしいと考えられる。



雨宮 真人君（正会員）

昭和 17 年生。昭和 42 年九州大学工学部電子工学科卒業。昭和 44 年同大学院工学研究科修士課程修了。同年日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所入所。以来、プログラミング言語・処理系、自然言語理解、

データフロー・アーキテクチャ、並列処理、関数型／論理型言語、知能処理アーキテクチャ、等の研究に従事。現在九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻教授。工学博士。電子情報通信学会、ソフトウェア科学会、人工知能学会、IEEE、AAAI 各会員。

○「形態素抽出ハードウェアアルゴリズムとその実現」

〔論文誌 Vol. 32, No. 10, pp. 1259~1268 (1991)〕

福島 俊一君 (正会員)

識学会, ACL 各会員.

1958 年生. 1982 年東京大学理学部物理学科卒業. 同年日本電気(株)入社. 現在, 同社 C&C システム研究所ターミナルシステム研究部主任. 日本語解析マシン, 校正支援システム, テキスト DB 検索など, 自然言

語処理システムの研究開発に従事. 本学会第 45 回全国大会奨励賞受賞. 人工知能学会, 計量国語学会, 情報知

〔論文概要〕

自然言語処理におけるハードウェアアプローチとして, 形態素抽出の新しいハードウェアアルゴリズムを提案し, それを実行する専用ハードウェア(形態素抽出マシン MEX-I)を試作した. 形態素抽出処理は, 単語辞書を検索することによって, 入力されたテキストに出現したと思われる単語(形態素)をすべて抽出する処理である. MEX-I は, 8 万語の単語辞書を用いた形態素抽出処理を, テキスト 1 万文字当たり約 1 秒で実行できる. この処理速度は, パーソナルコンピュータ (CPU: 80386, クロック: 16 MHz) 上のソフトウェアと比較して, 100 倍~1,000 倍高速である.

〔推薦理由〕

日本語処理で特に時間を要する形態素抽出の動作を詳細に分析し, 実用性の高いハードウェアアルゴリズムを提案すると共にハードウェアを実現し, さらにさまざまな試験によりその有効性を示した点が高く評価される. 情報化社会において, 自然言語解析技術の要求はますます高まってきており, 大規模検索を可能とした本成果の意義は大きい.

○「多重絞りカラー画像の解析」

〔論文誌 Vol. 32, No. 10, pp. 1338~1348 (1991)〕

浅田 尚紀君 (正会員)

1957 年生. 1979 年京都大学工学部電気工学科卒業. 1981 年同大学院修士課程修了. 1984 年同大学院博士課程修了. 同年福井医科大学助手. 1987 年京都大学工学部助手. 1990 年岡山大学工学部助教授. 1989

年 7 月から 1 年間シカゴ大学カートロスマン研究所客員研究員. 工学博士. コンピュータビジョン, 画像理解, 医療診断支援の研究に従事. 電子情報通信学会, 人工知能学会, 医用画像工学会各会員.

松山 隆司君 (正会員)

昭和 51 年京都大学大学院修士課程修了. 京都大学工学部助手, 東北大学工学部助教授を経て, 平成元年より岡山大学工学部教授. 京都大学工学博士. 昭和 57~59 年米国メリーランド大学客員研究員. 画像理

解, 人工知能, 並列処理の研究に従事. 本学会創立 20 周年記念論文賞, 平成 2 年人工知能学会論文賞受賞. 著書「SIGMA: A Knowledge Based Aerial Image Understanding System」など.

望月 孝俊君

1967 年生. 1991 年岡山大学工学部情報工学科卒業. 同年ミノルタカメラ(株)入社. 電子情報通信学会会員.

〔論文概要〕

不完全で誤りを含んだ画像情報から信頼性の高いシーン情報を得るには「多角的情報の統合」という解析方式が有効である. 本研究は, カメラパラメータを連続的に変化させながら撮影した多重画像の統合に関する研究の一環として行ったもので, パラメータとしてはカメラの絞りを用いた. 論文では, 各画素ごとに絞り変化に対する色ベクトル変化の線形性を評価し, 線形性が高く明度が高い色ベクトルを選択することにより, 安定で信頼性の高い色度・明度

情報が得られることを定量的に示した。さらに、多重絞りカラー画像を用いれば照明光の色度や画像エッジにおける3次元距離の推定が可能であることも示した。

〔推薦理由〕

本論文は絞りを連続的に変化させて撮影したカラー画像の情報の冗長性を利用して、信頼性の高い色度・明度情報を獲得する新しい手法を提案している。さらに、エッジのボケ幅の変化から物体距離の推定が可能であることを示し実験によってその可能性を確認している。論文の中では静止画像を論じているが原理的には動画像への適用が期待できる。

本論文は単純ではあるが有用な手法を明快に論じており論文賞にふさわしい内容である。移動ロボットの視覚センサの高信頼化への道を開くなど、コンピュータビジョンの実用化と適用分野の拡大に貢献することが期待できる。

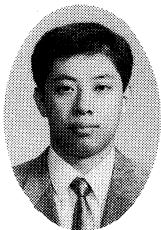
○「Approximate Greatest Common Divisor of Multivariate Polynomials and Its Application to Ill-Conditioned Systems of Algebraic Equations」

〔欧文誌 Vol. 14, No. 3, pp. 292~300 (1991)〕

越智 正明君

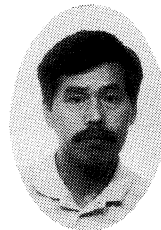
1989年愛媛大学大学院工学研究科修士課程（電子工学専攻）修了。工学博士。同年松下電器産業（株）入社。ワークステーションの設計に従事、現在に至る。愛媛大学大学院在学中、数値計算と数式処理の融合、

一般逆行列など悪条件問題への数式処理アルゴリズムの開発等に興味を持ち研究した。



佐々木建昭君（正会員）

1973年東京大学大学院博士課程修了（素粒子論専攻）、同年理学博士。1974年より理化学研究所勤務。1978年より10カ月、米国ユタ大学計算機学科の研究員。1991年より筑波大学数学系教授。情報科学（数式



処理システムの開発）、計算数学（代数算法、近似代数）、計算物理、マラソンに興味を持つ。情報処理学会論文賞、発明協会発明賞、山内奨励賞受賞。岩波講座情報科学、岩波情報科学辞典（いずれも分担執筆）など執筆。

野田松太郎君（正会員）

1969年大阪市立大学大学院博士課程（理論物理学専攻）修了、同年理学博士。学術振興会奨励研究員を経て、1970年愛媛大学工学部助手（電子工学科）。1991年より同大学同学部教授（情報工学科）現在に至る。



数値数式融合（ハイブリッド）計算のアルゴリズム及びシステム開発に強い関心を持ち研究中。マラソンの趣味が高じて、現在日本陸連公認審判員。ACM、応用数理学会、数式処理学会等会員。

〔論文概要〕

ある種の悪条件連立代数方程式の解を求める新しい数値数式融合アルゴリズムを与えている。対象の系は近似的共通因子（多項式）を持ち、わずかな変動で解の数が大きく変化する場合である。アルゴリズムでは、連立代数方程式の近似的最大公約多項式（GCD）を数式処理算法を基礎として求める。共通因子部分をGCDにより取り除き、方程式系の悪条件性を解消し、以後の数値計算を容易にする。この方法を用いると、例題に示すように通常の数値計算法の使用のみでは求めにくい解を安定して求めることができる。さらに、アルゴリズムはニュートン法など反復解法に対する良い初期値を与えることもできる。

〔推薦理由〕

本論文は、すでに著者らの提案した近似最大公約数を算出するユークリッドの互除法型の算法の考えを多変数多項式にも適用できるように拡張している。まず、多変数多項式に対する近似最大公約因子の概念を確立し、ついで、近似最大公約因子を決定する具体的な算法を導いている。また提案する近似最大公約因子算出法によって、不良設定連立代数方程式を良設定問題に変換して安定に数値解をもとめる算法を提案し、その性能を数値実験により確認している。本論文において提案している手法は、数式処理と数値計算とを巧妙に駆使した手法であり、互いの利点をいかして安定な数値計算を進める手法である。本研究の成果は、数値計算および数式処理の観点から新しい考え方であるのみならず、幅広く情報処理の基礎となる基本原理であり、論文賞としてふさわしいものである。

平成4年度 Best Author 賞の表彰

本学会では昨年度から「Best Author 賞」を新設し、学会誌「情報処理」に掲載された記事の中から、特に多数の会員の研修ならびに学術・技術の啓蒙、普及に貢献した記事を選び、その著者を表彰することにいたしております。

本賞の選考は、表彰規程および Best Author 賞候補者選定手続にもとづき、学会誌編集委員会（委員長 松下 温）が選定委員会となり、学会誌「情報処理」第33巻第1号～第12号に掲載された対象記事139編につき慎重に審議を行った結果、下記の5編が受賞候補記事として選定され、第374回理事会（平成5年3月）の承認をえて決定されました。

なお、本学会表彰規程により、5月19日に開催された第35回通常総会において、著者に表彰状および賞金が授与されました。

並列計算機と並列計算モデル (Vol.33, No.9)

安浦 寛人君（正会員）

1976年京都大学工学部情報工学科卒。1978年京都大学大学院工学研究科修士課程了。1980年より京都大学工学部助手（情報工学）。1986年より同助教授（電子工学）。1991年より九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻教授。論理設計、並列計算、CADに関する研究に従事。本学会ならびに電子情報通信学会の論文賞を受賞。本学会設計自動化研究会幹事。

我が国におけるコンピュータウィルスの現状と対策 (Vol.33, No.7)

岡本 栄司君（正会員）

1950年生。1973年東京工業大学工学部電子工学科卒業。1978年同大学院博士課程修了。同年日本電気㈱入社。1991年より北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。グラフ理論、通信理論、情報セキュリティの教育・研究に従事。工学博士。IEEE、電子情報通信学会、応用数学会、システム監査学会、日本セキュリティ・マネジメント学会、情報理論とその応用学会、IACR 各会員。

山田 忠直君

1948年生。神戸市出身。

1972年大阪府立大学工学部化学工学科卒業。1974年同大学院修士課程修了。この間イオン交換樹脂における物質移動の研究を行う。同年㈱石井鐵工所入社。石油備蓄、ガスプラントなどの応用解析業務に従事。その後㈱バーテックスシステムを創設。情報処理振興事業協会コンピュータウィルス技術調査室室長。著書「コンピュータウィルスのおはなし」

湯藤 典夫君

1972年富山大学文学部理学科卒業。同年4月㈱協栄計算センター（現アイネス）入社。1991年4月から1993年3月まで情報処理事業協会に出向。コンピュータウィルス対策業務に従事。情報処理振興事業協会コンピュータウィルス技術調査室前室長。

フルテキスト・データベースの技術動向 (Vol.33, No.4)

小川 隆一君（正会員）

1957年生。1981年東京大学理学部地球物理学科卒業。1983年同大学院修士課程修了。同年日本電気㈱入社。画像情報システム、ハイパメディアシステム、英語ヒアリング学習システムなどの研究開発に従事。1989～1990年米国メリーランド大学計算機科学科訪問研究員。現在日本電気㈱C&C情報研究所情報応用研究部主任。電子情報通信学会会員。

菊地 芳秀君（正会員）

1961年生。1984年東京工業大学電子物理工学科卒業。1986年同大学院理工学研究科（電気電子工学専攻）修士課程修了。同年日本電気㈱入社。マルチメディア、ディスクアレイ、検索システムなどの研究開発に従事。現在同社機能エレクトロニクス研究所メカトロニクス研究部主任。

高橋 恒介君（正会員）

1940年生。1964年慶応義塾大学理工学部計測工学科卒業。1966年同大学大学院修士課程修了。工学博士。同年日本電気㈱入社。磁性膜メモリデバイス、高速ファイルメモリシステム、テキスト検索、VLSI アルゴリズムの研究に従事。現在は同C&Cシステム研究所主管研究員。IEEE、電子情報通信学会、電気学会、応用磁気学会など各会員。

動的ハッシュ法とその応用 (Vol.33, No.12)

青江 順一君 (正会員)

1951年生. 1974年徳島大学工学部電子工学科卒業. 1976年同大学院修士課程修了. 同年同大学工学部助手(情報工学科), 現在同大学助教授(知能情報工学科), 工学博士. コンパイラ自動生成系, 自然言語処理と理解に関する研究に従事し, パーサ, 情報検索, ストリングパターンマッチング, データ圧縮アルゴリズムの効率化に興味をもつ. 著書「Computer Algorithms-Key Search Strategies」(IEEE CS Press) など. 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会, 日本人工知能学会, IEEE, ACM, AAAI, ACL 各会員.

画像の内容検索—電子美術館への応用 (Vol.33, No.5)

加藤 俊一君 (正会員)

1985年京都大学大学院博士課程学修退学. 同年同大学研究生. 1986年より通産省電子技術総合研究所勤務. 1992年～1993年, 英国ロンドン大学客員研究員. 画像の認識・理解, マルチメディアデータベース, ヒューマンインタフェース, 感性情報処理などの研究に従事. 現在, 知能システム部対話システム研究室主任研究官. 工博.

栗田多喜夫君 (正会員)

1981年名古屋工業大学工学部電子工学科卒業. 同年電子技術総合研究所入所. 以来, 多変量解析の理論と応用に関する研究に従事. 1990年カナダNRC招聘研究員. 現在, 情報科学部情報数理研究室主任研究官. 工学博士. 電子情報通信学会, 日本行動計量学会各会員.



平成 4 年度坂井記念特別賞の表彰

本学会では情報処理の研究・開発に携わる優秀な若手研究者を表彰の対象として、本年度から元会長坂井利之先生(京都大学名誉教授 龍谷大学理工学部長)から、寄贈された資金により坂井記念特別賞を新設しました。

本賞は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に携わっている研究・開発者で、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展が期待される 39 歳までの研究・開発者を対象としています。

本年度の受賞者は「坂井記念特別賞候補者推薦書」により推薦された候補者 20 名から表彰規程および坂井記念特別賞候補者選定手続にもとづき、相磯副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、下記の 4 君が第 374 回理事会(平成 5 年 3 月)の承認をえて決定されました。

なお、本学会表彰規程により、5 月 19 日に開催された第 35 回通常総会において、受賞者に表彰状および賞金が授与されました。

●基礎・理論分野

「並列計算のための局所計算可能なデータ構造の研究・開発」

安浦 寛人君(正会員)

1953 年 10 月生, 1976 年京大工学部情報工学科卒, 1978 年同大大学院修士課程終了, 1980 年同大工学部助手, 1986 年同大工学部助教授, 1991 年九大大学院総合理工学研究科教授。

〔業績推薦理由〕

並列処理のアルゴリズム設計に対するデータ構造の設計原理を明確化し、データ構造に冗長性を導入し、並列計算の効率向上に独創的な提案を行った。

●ハードウェア分野

「推論マシン・アーキテクチャの研究・開発」

中島 浩君(正会員)

1956 年 5 月生, 1979 年京大工学部情報工学科卒, 1981 年同大大学院修士課程終了, 1981 年三菱電機(株)入社, 情報電子研究所にて、推論マシンのアーキテクチャの研究・開発に従事, 1992 年京大工学部助教授。

〔業績推薦理由〕

世界に先がけて論理型言語処理をアーキテクチャの観点から解析し、実用的な専用高速推論マシンの実現のために有用な機構ならびに手法を提案し、関連研究に大きな貢献をした。

「並列シミュレーションの研究・開発」

中田登志之君(正会員)

1957 年 9 月生, 1980 年京大工学部情報工学科卒, 1985 年同大大学院博士課程終了, 1985 年 NEC 入社, C&C システム研究所にて、並列回路シミュレーションマシン/CAD 用並列マシンの研究・開発に従事。

〔業績推薦理由〕

論理装置の回路及び論理のシミュレーション装置を高速化するための並列マシン・アーキテクチャを考案し、実用規模の並列マシンの開発を通して、その有効性を実証した。

●アプリケーション分野

「人工生物システムの研究・開発」

村上 公一君(正会員)

1952 年 6 月生, 1978 年北大工学部原子工学科卒, 1980 年同大大学院修士課程終了, 1980 年(株)富士通研入社, コンピュータ・グラフィックスにおけるモデリング技術と映像生成技術の研究に従事。

〔業績推薦理由〕

人工現実感技術分野において、人工生物の実現のために生物・自律性に主眼を置いた独創的な「生物らしさを感じさせるアーキテクチャ」の提案・開発を行っており、この分野の萌芽的な意義があり、今後の展開が大いに期待される。

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成5年6月15日～7月31日)

研 究 会 名	日 時		会 場	備 考
記 号 処 理	6月18日(金)	13:00～17:00	工 学 院 大	前号参照
ハイパフォーマンスコンピューティング	6月18日(金)	13:00～17:00	同 上	同 上
オーディオビジュアル複合情報処理	6月18日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
人 工 知 能	6月23日(木)	9:30～17:00	工 学 院 大	同 上
設 計 自 動 化	6月25日(金)	10:00～17:00	金 沢 大	同 上
グ ル ー プ ウ ェ ア	6月25日(金)	9:30～16:30	工 学 院 大	同 上
ヒューマンインタフェース	7月8日(木)	10:30～17:00	NTT(横須賀)	下記参照
システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム) マルチメディア通信と分散処理	7月8日(木) 7月9日(金)	9:30～17:30 9:30～17:30	阪 大	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	7月8日(木) 7月9日(金)	10:00～22:00 8:40～17:40	大雪青年の家	同 上
情 報 メ デ ィ ア	7月9日(金)	9:30～17:30	ソニー(東京)	同 上
自 然 言 語 処 理	7月9日(金)	9:40～17:15	宇 都 宮 大	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	7月15日(木) 7月16日(金)	13:30～17:30 10:00～17:00	筑 波 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	7月16日(金)	13:00～16:00	工 学 院 大	同 上
情 報 シ ス テ ム	7月20日(火)	13:30～17:00	同 上	同 上
デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	7月21日(水) 7月22日(木) 7月23日(金)	9:00～19:00 9:00～17:00 9:00～16:00	ホテルセントヒル 長 崎	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	7月22日(木)	10:00～16:30	岡 山 大	同 上
情 報 学 基 礎	7月26日(月)	9:30～17:00	北 大	同 上

◆第49回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数:9件)

(主査:安西祐一郎,幹事:井関 治,小川克彦,来住伸子)

日 時 平成5年7月8日(木)10:30～17:00

会 場 NTT 横須賀研究開発センタ

[横須賀市武1-2356,京浜急行:野比下車,京浜急行バス(横須賀市民病院,または通信研究所行):通信研究所下車(11分),Tel.(0468)59-2095]

議 題

—10:30～12:15—

(1) 遠隔故障診断における映像メディア利用の効果

前川督雄,浜田 洋(NTT)

[概要] 映像併用の場合と音声会話のみによる場合との故障診断効率を,診断方策との関連で比較分析.

(2) 協調故障診断におけるグループコミュニケーションの分析

鹿島優子,前川督雄,浜田 洋(NTT)

[概要] 協調故障診断コミュニケーションにおける故障情報や修復方策の共有とタスクの効率との関連分析.

(3) CG 提案営業システムのレンダリング用データ管理手法

西尾一孝, 中 俊弥, 杉田知英子, 岡部公治 (松下電器)

[概要] 対話型操作と高速画像生成の両立を目指したCG用データ管理手法とシステム構成。

—13:30~17:00—

(4) 作図をすると何故ひらめくのか? —「ひらめき」を導く知識ベースモデル—

伊藤毅志, 大西 昇, 杉江 昇 (名大)

[概要] 作図による内部表象の変化に対応して生成される知識の新概念PCSによる説明の試み。

(5) 意思決定支援のための3次元データ・モデル可視化方法の検討 谷口洋司, 古賀明彦, 広瀬 正 (日立)

[概要] 3次元表示を利用してデータ・モデルを可視化し, ユーザの発想を支援する方法の提案。

(6) 手紙文/論文作成支援システム

高尾直弥, 恒川昌昭, 川原千尋, 辻 敦生, 對馬常人, 杉村領一 (松下電器)

[概要] 文章種別に応じて文例と文章アウトライン/書き方をアドバイスする機能を備えたシステムの紹介。

(7) 日本語自動点訳ソフトウェアの技術的問題点と改良の指針

栗原 亨, 斎藤玲子, 長岡英司, 斉藤正夫, 河原正治 (筑波技術短大)

石川 准 (静岡県立大), 河村 宏 (東大), 小山智史 (弘前大)

[概要] 日本語自動点訳ソフトウェアの直面する技術的問題点の整理と, 当面の改良指針の提案。

(8) プレイバック機能を持ったビジュアルエージェント

玉田隆史, 中村泰明, 西田正吾 (三菱電機)

[概要] ソフトウェアの動作を再現するための操作の記録・再生, 画像・音声による説明機能を持つシステム。

(9) 三次元図形マッチングタスクにおけるダイヤル回転操作の分析

坂本忠明, 今宮淳美 (山梨大)

[概要] 2つの三次元図形の見え方を同じくするタスクにおけるダイヤル回転操作の予測式の導出。

*懇親会: 研究会終了後に予定しています。多数ご参加ください。

◆第60回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 } 合同研究会

◆第61回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 30 件)

OS (主査: 鈴木則久, 幹事: 清水 康, 萩野達也, 福田 晃)

DPS (主査: 白鳥則郎, 幹事: 鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

日 時 平成5年7月8日(木) 9:30~17:30

9日(金) 9:30~17:30

会 場 大阪大学 基礎工学部 情報工学科 新棟1階 AV 演習室

[豊中市待兼山町1-1, 阪急(宝塚線): 石橋下車, 徒歩20分, または, 地下鉄(御堂筋線): 千里中央下車, 阪急バス(大阪空港行): 阪大豊中学舎前下車(15分), Tel. (06) 844-1151 (ex.4801 東野)]

議 題

7月8日(木)

—9:30~12:00—

●マルチメディア通信およびヒューマンインタフェース

(1) LAN におけるマルチメディア通信方式の検討

岩見直子, 高原桂子, 松井 進 (日立)

[概要] 転送時間が保証されないLAN上での時間情報を持つマルチメディアデータのリアルタイム通信方式。

(2) リアルタイム・オブジェクトむきのIPCについて

盛合 敏 (NTT)

[概要] リアルタイム・オブジェクトの実現機構と, それをサポートする通信プリミティブについて提案する。

(3) クロスプラットフォームなコンピュータネットワーク上での音声通信の実現

篠田 晃, 石井一彦, 桑名栄二 (NTT)

[概要] UNIX やマッキントッシュが混在するネットワーク環境で実現した音声通信システムについて示す。

(4) インターネット上での音声会話

田中裕之 (奈良先端大), 平原正樹 (九大), 荒木啓二郎 (奈良先端大)

[概要] インターネット上で円滑な音声会話を実現するためのツールが抱える問題と解決策について。

(5) マルチメディアメール・ニュースの表示システムの設計および実装

若林 進, 下條真司, 西尾章治郎 (阪大)

[概要] 画像や音声をオブジェクトとして文書中に混在して表示するメール・ニュースリーグの開発を行った。

(6) Fisheye Videos

山足公也, 谷 正之, 谷越浩一郎 (日立)

[概要] 複数ビデオの表示状態からユーザ興味度を評価し, 興味度に合わせてビデオの情報量を変更する。

●招待講演

—13:00~14:45—

(7) 超高速ネットワークとマルチメディア

宮原秀夫 (阪大)

[概要] 超高速ネットワークやその上に構築されるマルチメディアシステムの必要性や技術的課題について述べる。

(8) マルチメディア通信とATM ネットワーク

濃沼健夫 (NTT)

[概要] マルチメディアWSなどをきっかけに通信の高度化が叫ばれており, それを実現するNW技術を解説。

●性能評価およびシステムサーバ

—15:00~17:30—

(9) TCP/IP 上でのマルチメディア通信とその性能

坂本泰久, 桑名栄二 (NTT)

[概要] 画像通信, 音声通信とコンピュータネットワーク性能の関係について, 実データをもとに考察する。

(10) Real-Time Mach 3.0 のマルチメディア処理に関する性能評価

緒方正暢 (日本 IBM), 和田英彦 (横河電機), 追川修一, 西尾信彦 (慶大), 徳田英幸 (慶大/CMU)

[概要] 連続メディアを扱うために必要なリアルタイム処理機能についての性能評価の結果を示す。

(11) Real-Time Mach 3.0 における連続メディアサーバの実験 —Quick Time Player の評価—

松渡大地 (慶大), 徳田英幸 (慶大/CMU)

[概要] Real-Time Mach 3.0 上での連続メディアサーバ実現に関する問題点, および性能評価等を報告する。

(12) 分散マルチメディア環境を実現する AV サーバ —歌舞伎—

永松竜夫, 河上 達, 田辺 充, 田中浩一 (ソニー)

[概要] 複数メディアデータの同期, 通信, 圧縮伸張, リソース管理を行うサーバを NEWS 上に実現した。

(13) 試行評価のためのメディア複合サービス開発環境

金井 敦, 三宅延久, 中山隆二 (NTT)

[概要] メディアを組み合わせた新サービスの試行評価を目的とした AP 開発方法とシステムについて述べる。

(14) ISDN 逆多重化装置の特性評価と効率の利用法

山下高生, 小野 論 (NTT)

[概要] LAN 間接続として逆多重化装置を用いる場合に必要リンクの効率的な利用方法。

7月9日(金)

●プロトコルおよびモデル

—9:30~12:25—

(15) 通信プロトコルをデータ構造で抽象化する拡張 C 言語 RSC

岡野裕之 (日本 IBM)

[概要] 構造体へのポインタを共有してプロセス間の通信・同期を達成するための C 言語の拡張とその実装。

(16) Secure Group Communication Protocol

三田浩也, 中村章人, 滝沢 誠 (東京電機大)

[概要] グループ内の特定のエンティティ間での通信を安全に行うためのプロトコルについて述べる。

(17) Automated Synthesis of Two Process Protocol Specifications with Message Collisions

五十嵐裕孝, 浅田宏幸, 角田良明, 菊野 亨 (阪大)

[概要] プリミティブ実行系列から2プロセスのプロトコル仕様を自動合成する方法の提案とその正当性の証明。

(18) 応用指向プロトコルの知識型設計方法について

菅沼拓夫 (千葉工大), 木下哲男 (沖電気), 菅原研次 (千葉工大), 白鳥則郎 (東北大)

[概要] 分散アプリケーションに依存した応用指向プロトコルの知識型設計方法論の枠組みについて述べる。

(19) LOTOS Enhancement for Specifying Time Constraints Among Non-adjacent Action and Verification of Equivalence

中田明夫, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

[概要] LOTOS の意味モデルを拡張し, 時間制約を記述できるようにすると共にその等価性の検証法を与える。

(20) 拡張有限状態機械を用いた協調作業向きの計算システム

今城広志, 岡野浩三, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

[概要] 拡張有限状態機械を用いた協調作業向きの計算モデルとその実行系について述べる。

(21) HSC に基づく通信システム仕様開発環境の CBR ツールによる実現

黄 錦法 (東北大), 吉村 晋 (東芝), 白鳥則郎 (東北大)

[概要] CBR ツールを用いて事例ベース推論を適用した HSC 仕様開発支援環境の実現について述べる。

●システムソフトウェア

—13:30~15:10—

(22) 「紙」メタファによる手書きコミュニケーションと分散手書き KJ 法システム

中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

[概要] 紙メタファによるコミュニケーションシステムの設計と分散手書き KJ 法システムについて報告する。

(23) 「紙」メタファを実現するための核 OS の基本設計

森永智之, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

[概要] 紙を2次元アドレスとして管理する OS の構築を目的とする μ カーネルの設計について述べる。

(24) マイクロカーネル構成の OS におけるシステムサーバ

桑山雅行, 最所圭三, 福田 晃 (九大)

[概要] マイクロカーネル構成の OS におけるシステムサーバの構成法と性能について述べる。

(25) リアルタイム画像生成システム用 OS の機能と実装

藤井茂樹, 米田泰司, 日高教行, 浅原重夫 (松下電器)

[概要] 疎結合型マルチプロセッサ上でリアルタイム画像生成を行うための OS の機能とその実装について。

●ルーティングおよび OSI

—15:25~17:30—

(26) 経路制御におけるもとのり問題の定義

村山優子 (WIDE プロジェクト), 中村素典 (京大), 相川秀幸 (富士通)

[概要] 従来の経路制御では論じられていない部分経路の好き嫌いによる経路選択問題を定義する。

(27) RIP における最適経路選択のための preference の導入

中村素典 (京大), 出水法俊 (オムロン)

〔概要〕 RIP に preference の概念を導入することを試み、その有効性と問題点に関して考察する。

(28) OSI 7 層ボードの実装と評価 井戸上彰, 加藤聰彦, 鈴木健二 (KDD)

〔概要〕 OSI の 7 層すべてをサポートする通信ボードのハードウェア／ソフトウェア構成、性能評価を述べる。

(29) 大規模 OSI ディレクトリ情報ベース (DIB) のための高速名前解読処理方式

西山 智, 横田英俊, 小花貞夫, 浅見 徹, 鈴木健二 (KDD)

〔概要〕 識別名をハッシュする名前解読処理方式を提案し、大規模 DIB の高速化に有効であることを示す。

(30) CLNP ネットワークにおけるエリア内での移動体サポート 塚本昌彦, 田中理恵子, 津森 靖 (シャープ)

〔概要〕 OSI エリア内での移動体を効率よくサポートするプロトコルをいくつか提案し、それらを比較する。

*懇親会: 8 日 (木) の研究会終了後に予定しています。多数ご参加ください。

◆第 93 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 24 件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 大蒔和仁, 深澤良彰)

—サマーワークショップ・イン・大雪—

今回の研究は「サマーワークショップ・イン・大雪」として下記の日程で開催いたします。4 件のテーマについてのサーベイ, 研究発表, ならびにグループ討論を企画しています。大自然の中で, ソフトウェア工学の現状と将来像を討論する場として, 多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成 5 年 7 月 8 日 (木) 10:00~22:00

9 日 (金) 8:40~17:40

会 場 国立大雪青年の家

〔北海道〕上川郡美瑛町字白金, 旭川空港からタクシー約 40 分, または JR (富良野線): 美瑛 (びえい) 下車, タクシー約 20 分. Tel. (0166) 94-3121]

議 題

7 月 8 日 (木)

—10:00~12:00—

●研究会開催にあたって

●セッション 1: 設計方法論 I

司会: 佐伯元司 (東工大)

(1) プロトタイピングのためのオペレーショナルモデル OPM 宮本衛市 (北大), 何 克清 (武漢大)

〔概要〕 要求仕様を実行可能なモデルで表現し, 試行しながら仕様を詳細化していくためのモデルを提案する。

(2) データフロー設計と JSP を結び付けたプログラム設計のモデル 林 雄二 (北海道情報大)

〔概要〕 一貫してデータフローで設計し, 最下層プロセスを JSP で設計できる DFD の形式的モデル。

(3) ソフトウェアクリエーション: 人間の特性に立脚した自動設計方式 河野善弥 (埼玉大)

〔概要〕 ソフト設計を模擬する自動設計方式を紹介し, 人間の好む階層性等の基本原則に基づき検討する。

—13:00~15:45—

●セッション 2: 設計方法論 II

司会: 河野善弥 (埼玉大)

(4) サーベイ: ソフトウェア仕様化・設計法の最近の研究動向 佐伯元司, 郭 文音 (東工大)

〔概要〕 仕様化・設計法に関する最近の研究動向, 例えば適用事例研究や形式的手法などについて概説する。

(5) ビジュアルなソフトウェア要求定義支援 大西 淳 (京大)

〔概要〕 ビジュアルにソフトウェア要求を記述し, シナリオにより, 要求記述実行過程をアニメーションで表示。

(6) 動的振舞いを用いたソフトウェア性能分析支援システムの構築 岩永将幸, 大森健児 (法政大)

〔概要〕 ソフトウェアの性能を改善するための環境として, GUI を用いて対話的に分析を行うシステムを構築。

(7) 部分計算を用いた等式仕様の変換と実行

森 彰, 篠原伸生 (京大), 前田将徳 (松下電器), 松本吉弘 (京大)

〔概要〕 等式仕様を手続き型言語へ変換し拡張, 実行する方法について行エディタを例にして述べる。

—15:55~18:40—

●セッション 3: 開発プロセス

司会: 宮本衛市 (北大)

(8) サーベイ: ソフトウェアプロセスに関する研究の現状 落水浩一郎 (北陸先端大)

〔概要〕 ICSE, ICSP, ISPW, JSPW における内外の研究活動を中心にした, 研究現状の紹介。

(9) プロセスプログラミングにおけるリフレクション機構の有効性 鵜飼孝典 (富士通国際研)

〔概要〕 リフレクション機構をもつ RLOTOS を用いて要求獲得段階のプロセスの記述を行いその有効性を示す。

(10) 協調開発プロセスモデルを用いたプロジェクト管理手法について

飯田 元, 三村圭一, 井上克郎 (阪大), 鳥居宏次 (阪大/奈良先端大)

〔概要〕 多人数の進捗管理や作業誘導, 人員配置などを有効に行うための開発プロセスモデルについて論じる。

(11) 協調作業支援技術の研究開発動向 向山 博 (JIPDEC)

〔概要〕 伝達, 意志決定, 調整等のグループ作業を支援する技術について調査研究した結果を報告する。

—20:30~22:00—

●セッション4：問題解決とグループ討論

司会：西岡健自（横河電機）

(12) S-MAP：知恵の出し方・出させ方 グループによる問題解決法—

菅原 護（富士通）

[概要] 普段の何気ない思考行動を抽出し体系づけ、6年間の実践教育を通して開発した新しい発想法。

●テーマ別グループ討論：設計方法論、開発プロセス、ヒューマンインタフェース、CASE

7月9日（金）

—8：40～12：00—

●セッション5：ヒューマンインタフェースのソフトウェア

司会：平川正人（広島大）

(13) サーベイ：ヒューマンインタフェースの動向 —ポストGUIの座をめぐって—

小島啓二（日立）

[概要] Multimodal, VR, Ubiquitous computing などのポストGUIの技術の現状と動向について。

(14) 3次元CGをベースとしたUIMSの実現

朝日宣雄，田中昭二，李 碩，前中 聡（三菱電機）

[概要] 3次元CGアニメーションを用いたユーザインタフェースの構築ツールと実行環境の実現。

(15) Duma：マルチメディア文書フレームワーク上のUIMS

大津隆史（松下電器）

[概要] マルチメディアアプリケーション上の一貫したユーザインタフェースのための設計方法論を探索。

(16) 構造化支援機能をもつマルチメディアカードインタフェースの構築

中村宏一，遠藤聡志，大内 東（北大）

[概要] 曖昧な情報を階層構造として整理するマルチメディアカードインタフェースについて述べる。

(17) ビジュアル言語 VOC における部品の視覚的合成法について

田代秀一（電総研）

[概要] 部品を視覚的に合成する際に必要となる，クラス階層樹とは別の制約伝達の実現法について論じる。

—13：00～15：45—

●セッション6：CASEとオブジェクト指向

司会：秋山義博（日本IBM）

(18) サーベイ：オブジェクト指向CASEはなぜオブジェクト指向分析なのか

中谷多哉子（富士ゼロックス）

[概要] いくつかのOO-CASEをとりあげ実現しようとしている開発支援の姿を検証し効果，問題点，動向を示す。

(19) 階層化を考慮したオブジェクト間交信図

植野直樹（YHP）

[概要] オブジェクトの2種類のスコープを動的に換えることにより，使用者は必要な情報を容易に把握できる。

(20) クラスライブラリの理解容易性の評価について

中西弘毅，荒野高志，三宅武司（NTT）

[概要] 自然言語の研究成果であるZipfの法則をクラスライブラリの理解容易性の評価に使うための一手法。

(21) 細粒度情報モデルに基づくCASEの実用経験

西岡健自，平田陽一郎，渡邊多恵子，日野康臣，秋本綾子（横河電機）

[概要] 細粒度OMSを事業部の開発プロセス向けにカスタマイズし，開発現場で運用した経験について報告する。

—15：55～17：40—

●セッション7：リエンジニアリングと検証・評価

司会：古宮誠一（IPA）

(22) CAPSDFにおけるリエンジニアリング

津田道夫（日立）

[概要] 日立のリエンジニアリング支援ツールの機能とそれを用いたサービス事業への実用化を述べる。

(23) 外部イベント駆動型システムの試験系列生成手法

高木浩則，橋本辰範（NTT）

[概要] システムの動作仕様から，系列長の短い試験系列を生成するヒューリスティックな方法を提案する。

(24) タスク型を含んだ並行処理プログラムのテスト法について

片山徹郎，菰田敏行，古川善吾，牛島和夫（九大）

[概要] タスク型を含んだ並行処理プログラムを分類し，そのテスト法について，検討・評価を行う。

*参加申込み方法：サマワークショップへの参加は通常の研究会と同様ですが，準備の都合上，参加希望の方は下記までお申し込みください。なお，会場の大雪青年の家での7日～9日の宿泊も受け付けますのであわせてお申し込みください。

申込先：吉岡明彦（富士通） Tel. (03) 3730-3112（直通） Fax. (03) 3734-4161 e-mail：yoshi@sokai.se.fujitsu.co.jp

申込締切：平成5年7月1日（木）

*懇親会：8日（木）（19：00～21：00）に予定しています。

◆第12回 情報メディア研究会

（発表件数：6件）

（主査：相磯秀夫，幹事：石塚英男，上林憲行，田中 譲，中川 透）

日 時 平成5年7月9日（金）9：30～17：30

会 場 ソニー（本社第2ビル） 301A・B会議室

[東京都港区高輪4-10-18，JRまたは京浜急行：品川下車（WING高輪ビル内），徒歩1分。Tel. (03) 5448-3330]

議 題 特集：感性とメディア

—9：30～11：30—

(1) インタラクティブCGシアター「カ・オ・リ」における顔のリアルタイムアニメーション

新井清志，安生健一（日立中研），坂本 浩（フジテレビ）

[概要] 高速変形手法を用いた顔のリアルタイムCGシステムを開発し，ライブの演劇で使用した。

(2) 絵画と画像ディスプレイ

金子英二（GTC）

- [概要] 国内外の名画をアスペクト比・コントラスト比・細密性・色構成・立体視等ディスプレイ面で論じる。
 (3) 人, 電子ドクターにあう 吉田敦也 (京都工繊大)
 [概要] コンピュータネットワーク上の仮想世界に病院を建築するための電子問診の予備実験について報告する。

—13:30~17:30—

- (4) 見学 (～14:30): メディアワールド
 (5) コンピュータ似顔絵生成と感性とメディア 興水大和, 村上和人, 中山 晶, 福村晃夫 (中京大)
 [概要] PICASSO システムを手がかりにして, 似顔絵生成における顔に関する感性とメディアについて考察する。
 (6) ビデオ映像メディアによるマルチメディアユーザインタフェース 神場知成 (NEC)
 [概要] 画面全体をビデオ映像の組合せで構成するデスクトップ環境について述べる。
 (7) ミッキーマウスは脳を持てるか 河原敏文 (ポリゴンピクチャーズ)
 [概要] 従来のアニメーションのキャラクタは自ら動作できない, C.G.で演技できるキャラクタ作りをめざす。

◆第96回 自然言語処理研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 永井秀利, 林 良彦, 丸山 宏)

日 時 平成5年7月9日 (金) 9:40～17:15

会 場 宇都宮大学 工学部 大会議室

[宇都宮市石井町2753, 宇都宮駅 (宮の橋バス停) より, JR バス: 工学部前下車, 徒歩1分, または東野交通バス: シンガー日鋼前下車, 徒歩1分, Tel. (0286) 61-3401 (ex.702 安達)]

議 題 —9:40～12:00—

- (1) 大規模日本語テキストのnグラム統計の作り方と語句の自動抽出 長尾 真, 森 信介 (京大)
 [概要] 任意のnに対するnグラム統計のアルゴリズムを示し, 3000万文字, n=12までの実験を行った。
 (2) マルコフ連鎖モデルの種類と日本語の誤字訂正候補選択の効果

荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 土橋潤也 (福井大)
 [概要] 順方向, 逆方向, 中間タイプのマルコフ連鎖確率モデルによる誤字訂正候補の選出能力を評価する。

- (3) 日本語・手話電子化辞書の構成法について 安達久博, 下山豪彦, 松浦威日, 播磨良洋 (宇都宮大)

[概要] 手話単語の造語成分に着目した分類を行い, 未知語に対しても情報を提示する辞書構成法を提案する。

- (4) コーパスからの単語間距離の獲得手法 関根 聡 (松下電器)

[概要] コーパスから, 未知という概念を導入した統計手法と効率的な人間の介在により単語間距離を求める。

—13:00～17:15—

- (5) 日本語の名詞句と等位接続詞「と, や, に」の形式意味論に関する考察 武藤伸明, 中川裕志 (横浜国大)
 [概要] 日本語名詞句の意味を記述する体系としてILが不十分であることを示しタイプ変換の必要性を考える。

- (6) 省略補完における談話的制約の有効性の検討 藤澤伸二, 増山 繁 (豊橋技科大), 内藤昭三 (NTT)
 [概要] 省略に関するいくつかの談話的制約が省略語の復元を行う上でどの程度有効であるか検証する。

- (7) 用例検索による韓日・日韓翻訳支援システム 黄 道三, 長尾 真 (京大), 佐藤理史 (北陸先端大)

[概要] 類似例文の効率的検索のための, 改良型文字照合検索法とシソーラスを用いる意味照合検索法を示す。

- (8) 機械翻訳前編集における日本語文分割処理について 木村真理子, 野村浩一, 平川秀樹 (東芝)

[概要] 効果的な文分割を行うための分割候補文検出と修正候補生成の概要・評価について述べる。

- (9) JEIDA 機械翻訳システム評価基準 (利用者編)

—ユーザのための評価項目の作成とアンケート調査による検証—

高山泰博 (三菱電機), 伊藤悦雄 (東芝), 八木沢津義 (キャノン)

茂木 健 (三洋電機), 野村浩郷 (九工大)

[概要] 機械翻訳に対するユーザのためのマクロの評価基準のアンケート調査による検証結果を考察した。

- (10) JEIDA 機械翻訳システム評価基準 (開発者編) —開発者のための評価項目の作成と検討—

中岩浩巳 (NTT), 森本康嗣 (日立), 松平正樹 (沖電気), 成田真澄 (リコー), 野村浩郷 (九工大)

[概要] 機械翻訳システムをその開発者が客観的に評価するための技術項目とそれを用いた評価法を提案する。

- (11) JEIDA 機械翻訳システム評価基準 (品質評価編) —英日翻訳の品質評価項目の検討と評価用コーパスの作成—

井佐原均 (電総研), 新納浩幸 (松下電器, 現茨城大), 山端 潔 (NEC)

森口 稔 (シャープ), 野村浩郷 (九工大)

[概要] 翻訳困難文の収集・分析と評価項目のトップダウン分類を組み合わせた評価コーパス作成を提案する。

◆第63回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数:16件)

(主査:西原清一,幹事:大野義夫,福井一夫,間瀬健二)

日 時 平成5年7月15日(木)13:30~17:30

16日(金)10:00~17:00

会 場 筑波大学 第三学群 A棟2階(3A210号教室)

[つくば市天王台1-1-1,バス:東京駅八重洲(南口)より常磐高速バス(つくばセンター行):終点下車,(筑波大学中央行)に乗換え:第三学群棟前下車,徒歩10分.Tel.(0298)53-5525]

議 題

7月15日(木)

一般(CV,VR)

(1) ビデオ講演:ハイビジョンあれこれ(ハイビジョンCGにおける感性表現) 河口洋一郎(筑波大)

[概要] ハイビジョンによる高精細CGの作成のノウハウ及び感性表現方法について紹介。

(2) パーチャルリアリティ世界構築のための指の動きの検出法 柴 広有,中嶋正之(東工大)

[概要] VRシステムとのヒューマンインタフェースとしての指の画像認識法について述べる。

(3) 自然動画像中の対象物位置検出方式 富高忠房,関屋庸男,影山浩二(ソニー)

[概要] 自然動画像中に存在する各種の対象物の位置の新しい検出法について提案する。

(4) 微分幾何構造を用いた曲面変形 木村昌弘,斎藤隆文,新谷幹夫(NTT)

[概要] G'接続を満足し,元形状の大域的な特徴を反映するような曲面変形手法を提案する。

(5) 画面の生成・理解によるモデリングのためのCADシステム 西原清一,狩野 均,梅澤 顕(筑波大)

[概要] 筑波大西原研究室における図面の生成・理解の研究に関する概要について紹介する。

(6) 筑波大におけるパーチャルリアリティに関する研究 岩田洋夫(筑波大)

[概要] 筑波大の岩田研究室におけるパーチャルリアリティの研究の最新動向について紹介する。

(7) 見学(17:00~):西原研究室,岩田研究室

7月16日(金)

特集:図面理解

—10:00~12:15—

(8) 曲面を含む三面図の矛盾の検出と理解 梅澤 顕,菊池浩司,狩野 均,西原清一(筑波大)

[概要] 曲面を含む三面図に含まれる矛盾や補助線の欠落の検出と修正・理解システム。

(9) 図面認知における視覚情報成分モデルについて 鬼塚武郎

[概要] 人は図面を創作し,見て評価する。視覚情報を複数成分に分解。

(10) 2枚の投影図からのものとの立体の自動復元 千田豊満,有光 隆,菊池 健(愛媛大)

[概要] 2枚の投影図で円柱部分を含む対象物の形状復元法。

(11) CAD図面の理解と計算機援用法チェックシステムへの応用 辻尾昇三,中村嘉伸,吉嶺英人(鹿児島大)

[概要] 寸法を入れるべき位置の図面ベクトルデータからの認識法と,システムでの利用。

—13:15~17:00—

(12) 機械図面の計算機処理 横山正明(東工大),佐藤健太郎(NKK)

[概要] 機械図面の三面図から機械加工プロセスの計画を決定する図面処理方式。

(13) 図面の認識と立体作成 青村 茂,石原 肇(東洋エンジニアリング)

[概要] CAD図面データから立体を作成する手法と条件を,実例とともに報告。

(14) 立体のCSGを出力する三面図解釈の一手法 北嶋克寛(農工大),田坂守康(オムロン)

[概要] プリミティブの直和と差演算のCSGを出力する三面図解釈手法。

(15) 三面図からの立体モデル自動復元システムの構築 柴宮 理,富山 健(青学大),肥塚 隆(新日鐵)

[概要] CSG法による復元。基本立体と集合演算情報を閉線分列より自動生成。

(16) 組立作業手順の自動生成法 田中雅次,岩間憲三(京都高度技研)

[概要] 製品の構成部品の他部品との拘束関係を認識し,分解/組立手順を導く。

(17) 擬似ブール代数解法による三図面からの物体合成法 伊藤 潔,船山 新(上智大)

[概要] 擬似ブール代数連立式により,三図面から多面体・曲面物体を一意的に合成。

*懇親会:15日(木)(18:00~)に予定しています(会費2000円予定)。ご出席の方は事前にご連絡ください。

連絡先:西原清一(筑波大) Tel.(0298)53-5525 Fax.(0298)53-5206

*今回の研究会はテレビジョン学会(画像処理・コンピュータビジョン研究会)との共催です。

◆第28回 コンピュータと教育研究会

(発表件数：4件)

(主査：一松 信，幹事：三好和憲，矢野米雄，吉田瑞穂)

日 時 平成5年7月16日(金) 13:00～16:00

会 場 工学院大学 11階 第7会議室

[東京都新宿区西新宿1-24-2, JR:新宿(西口)下車, 徒歩約10分, Tel. (03) 3342-1211]

議 題

(1) 芸術系大学における基礎専門教育としてのハイパーカード制作 石原 亘(京都芸術短大)

[概要] 芸術学部1年生を対象に教育を行った経験を踏まえ、可能性と技術面での問題点を論じる。

(2) 工学部における情報専門教育の一例 荒 実(工学院大)

[概要] ほぼ均質な1部学生と広範な背景の社会人2部学生に対して行ったUNIX/Cの教育を事例報告する。

(3) 論理プログラミングのための非手続き型言語の教育 芹澤照正(工学院大)

[概要] Prologによるリスト処理および記号数式処理の教育とその環境整備について述べる。

(4) アルゴリズム教育を目的としたチャート型言語システム 山本義一, 辻野嘉宏, 都倉信樹(阪大)

[概要] 初級者を対象としたアルゴリズム教育の場での使用を目的としたチャート型言語システムを試作した。

◆第45回 情報システム研究会

(発表件数：5件)

(主査：上野 滋，幹事：内木哲也，中嶋閑多，初瀬川茂)

日 時 平成5年7月20日(火) 13:30～17:00

会 場 工学院大学 11階 第8会議室(所在地は前記参照)

議 題 特集：エンド・ユーザ・コンピューティング他

(1) EUC導入にあたっての留意点 福井隆文(日本アイ・ビー・エム・サービス)

[概要] EUCを情報システム主導で展開する上での必要条件/考慮点を取り巻く環境要因より考える。

(2) 日本語対話システム「Anyone」ー自然言語によるエンド・ユーザ・コンピューティングー

板橋美子, 野村千桂子, 樋口雅宏, 大塚仁司, 高梨郁子, 辻 秀一(三菱電機)

[概要] 日本語文解析と意味処理により、日本語文によるビジネス系データベース検索システムを開発した。

(3) 暗号を利用したソフトウェア流通形態の提案 関 一則(慶大)

[概要] 暗号の利用により、ユーザ間での複製を認める新しいソフトウェア流通形態を提案する。

(4) オープン環境でのEUC構築ー電子プラットフォームの推進ー 笠野順一(東芝)

[概要] PCから複数のサーバにSQLでアクセスし、データを取り込み分析するシステムとその事例を述べる。

(5) 認知的インタフェースと情報創造のニューパラダイムに向けて 匠 英一(認知科学研)

[概要] 人間の認知活動とコンピュータの相互作用をグループウェア研究の成果などから紹介する。

◆第94回 データベースシステム研究会

(発表件数：30件)

(主査：増永良文，幹事：鶴岡邦敏，井上 潮，吉川正俊)

エキゾチック「出島」DBワークショップin長崎

ーデータベースと異文化の接点と融合を求めてー

恒例の夏の研究会を標記ワークショップとして開催いたします(略称EDWIN(エドウィン))。オブジェクト指向データベースシステムの研究・開発も一段落し、その高度応用に向けて種々の試みがなされています。一方では、「オブジェクト指向」をキーワードとして統合を目指す動きもみられます。データベース分野で開発されてきた各種概念・技術がプログラミング言語などに応用される動きもあれば、その逆の事実もあります。長崎の出島は、オランダや中国など、当時の進んだ「異文化」の接点として近代日本の科学文明発展に大きな役割を果たしました。本ワークショップのテーマはこれに因んでいます。ワークショップでは、一般講演、グループ討論、ポスターセッションの他にも三菱重工長崎造船所見学や特別講演等も行います。

日 時 平成5年7月21日(水) 9:00～19:00(グループ討論を含む)

22日(木) 9:00～17:00(工場見学を含む)

23日(金) 9:00～16:00

会 場 ホテルセントヒル長崎

[長崎市筑後町4-10, JR:長崎下車, 徒歩7分(長崎空港ー長崎駅間はリムジンバスにて55分)。

Tel. (0958) 22-2251]

議 題

7月21日(水)

●演繹データベース

ー9:00～12:00ー

(1) 演繹オブジェクト指向データベース言語 Quixote の手続き的意味論

西岡利博 (三菱総研), 津田 宏, 横田一正 (ICOT)

[概要] 束上の制約論理型言語の側面を持つ DOODPL である Quixote の手続き的意味論について述べる。

(2) 演繹オブジェクト指向データベースシステム Quixote の特徴と実現

高橋千恵 (JIPDEC), 森田幸伯 (沖電気), 西岡利博 (三菱総研), 津田 宏 (ICOT)

[概要] ICOT で開発した, DOOD システム Quixote の特徴と実現を紹介し, 今後の課題を検討する。

(3) 自然言語の制約ベース文法への DOOD 風アプローチ

津田 宏, 横田一正 (ICOT)

[概要] DOOD 言語 Quixote の特徴を生かした, 自然言語の制約ベース文法理論の記述を試みる。

(4) データベースに判決は予測できるか?

横田一正, 柴崎真人 (ICOT)

[概要] 法的推論システムに必要とされるデータベースシステムの特徴と機能を Quixote を例にして議論する。

(5) データベースを用いたデータ解析のための集合操作

山崎康雄, 古川哲也, 島崎眞昭 (九大)

[概要] データベース管理システムを用いてデータを整理する上で必要な集合操作の機能について述べる。

●ポスターセッション I

—12:00~13:00—

OODB を用いたネットワーク環境の情報提供システムについてビデオを使用したデモを行う。

村田美恵, 明田行史, 日野厚博 (AIC), 布川博士 (東北大), 増永良文 (情報大)

●データベースの高度応用

—13:00~14:30—

(6) 計画作成用データベースツール VicePlanner のビュー機能

掛下哲郎, 前田明子 (佐賀大), 山下義久 (日本ソフトウェア工学)

[概要] 編集中の計画を, 種々のビューを通して検査・改良する汎用スケジューリングツールについて述べる。

(7) データベースにおける意味的情報の構造的表現

片山紀生 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (学情センター)

[概要] 意味的表現を可能とするデータモデルとして意象 (semantic object) モデルを提案する。

(8) 情報検索におけるスキーマの統合と質問処理

西澤 格 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (学情センター)

[概要] 自律して動作している複数の情報検索データベースを統合的に利用するための手法を提案する。

●データベースと異文化

—14:30~16:00—

(9) Lessons from Working in a Foreign Culture : A Bridge between Two Research Areas

平賀瑠美 (日本 IBM)

[概要] Human Factor の専門家として DB 開発に加わった経験に基づく2つの研究分野の間の距離と接点について。

(10) バイオモデルを使った新しいプログラミングパラダイムとそのプロトタイプ

池田秀人 (広島大)

[概要] 生体の構造を基礎とした GUI での新しいプログラミングパラダイムとプロトタイプシステムの紹介。

(11) Database Access using Self-Organizing Neural Nets

阿江 忠, 近松良知, 川上勝康, 河田 学 (広島大)

[概要] 自己組織化ニューラルネットからのデータベース検索とニューラルネット間の協調/競合について論じる。

—16:15~19:00—

●グループ討論: データベース研究で何を行うべきか

データベース分野で研究すべき/すべきでない事項に関して3つ程度のグループに分かれて討論する。

コーディネータ: 増永良文 (情報大), 上林弥彦 (京大)

7月22日 (木)

●オブジェクト指向データベース

—9:00~12:00—

(12) オブジェクト指向DBMS のアーキテクチャに関する考察

鶴岡邦敏, 木村 裕 (NEC)

[概要] 実装上のポイントとなるメモリ管理, ファイル管理等について, いくつかの方式の得失を論じる。

(13) オブジェクト指向データベースを用いたアプリケーション構築における論理クラス層の導入

大蘆雅弘, 楠見雄規, 宮部義幸 (松下電器)

[概要] OODB 上に論理クラス層を設け, スキーマ設計および変更を効率化する方式を述べる。

(14) オブジェクト指向をベースとした部品の再利用技術について

龍 忠光, 泉 寛幸 (富士通研), 村川雅彦, 戸島哲夫 (富士通ネットワークエンジニアリング)

[概要] オブジェクト指向設計におけるアプリケーション向けプログラム部品化手法について解説する。

(15) オブジェクトの協調の抽象化について

酒井博敬 (中央大), 堀内 一 (日立)

[概要] オブジェクトの協調的振舞いに関する知識獲得の方法の体系化について論じる。

(16) オブジェクト指向データベースとリレーショナルデータベースの相互利用について

石川 博, 久保田和己 (富士通研), 手塚正義 (金沢工大)

[概要] 異種データベースの相互利用のために, リレーショナルモデルを構造と操作の面で拡張した枠組みの提案。

(17) 93 年 RIDE およびデータ工学国際会議報告

上林弥彦, 高倉弘喜 (京大)

[概要] 93 年 4 月にウィーンで開催された表記国際会議の話題について報告する。

—12:00~13:00—

●ポスターセッションⅡ（内容はポスターセッションⅠに同じ）

—13:00~14:30—

- (18) 招待講演：三菱重工業長崎造船所における基幹情報システム再構築の背景とその狙い（予稿集なし）

西邑雅史（三菱重工）

〔概要〕 システム再構築のための設計手法「CIM Design Methodology」とデータ中心設計技法を紹介する。

- (19) 特別講演：地球に生きる重工業（予稿集なし）

石丸俊一（三菱重工）

〔概要〕 地球と人類との共生を消費者の立場で考え、モノ作りに活かす日本の重工業の現状を解説する。

—15:00~17:00—

●見学：三菱重工業長崎造船所（送迎バスが出ます）

7月23日（金）

●マルチメディアデータベース

—9:00~12:00—

- (20) オブジェクト指向マルチメディアソフト開発環境 —ActivePage—

辻村 敏，宮部義幸，楠見雄規，井上信治，南方郁夫（松下電器）

〔概要〕 マルチメディアオブジェクトの保存にOODBを利用したソフト開発環境の応用例に基づく考察。

- (21) マルチメディア電子教科書の開発研究

増永良文（情報大）

〔概要〕 文部省検定の地理・歴史の教科書をマルチメディア電子教科書化する際の技術的課題を報告する。

- (22) オブジェクト指向データベースシステムにおける画像オブジェクトの構成と実装

大津浩二，福田紀彦（群馬大），脇山俊一郎（仙台電波高専），金森吉成（群馬大），増永良文（情報大）

〔概要〕 画像オブジェクトの構成，可視化，応用プログラムの画像処理関係を議論しOODBMSに実装した。

- (23) オブジェクト指向に基づく住宅地図データベースシステムの構成

打浪清一，荒木信吾（九工大），津留義信，尾崎直人，吉元祐一（ゼンリン）

石井泰人（ASA），山下泰英（YCC）

〔概要〕 位相的な検索ができる住宅地図データベースシステムの要求分析，システム設計，試作結果を述べる。

- (24) 大規模電子化辞書DB管理プログラム作成のための自然言語インターフェース

森 義和，落合尚良（EDR）

〔概要〕 大規模電子化辞書の管理プログラムを日本語によって作成する支援システムを紹介する。

- (25) 自動レイアウト機能をもつデータベース操作GUI生成システム

白田由香利，Arturo Pizano，飯沢篤志（リコー）

〔概要〕 GUIの非専門家でもE-Rダイアグラム上で指示するだけでGUIコードを自動生成するシステム。

—12:00~13:00—

●ポスターセッションⅢ（内容はポスターセッションⅠに同じ）

●データベースシステムの実現技法

—13:00~16:00—

- (26) 情報基盤のためのデータベース再構築のアプローチについて

鈴木健司（NTT）

〔概要〕 既存データベース間の情報流通と再構築のためのデータモデリングについて述べる。

- (27) シグネチャファイルを用いた集合値検索のコスト評価

石川佳治，北川博之，大保信夫（筑波大）

〔概要〕 シグネチャファイルを用いた集合値検索機構における検索処理について延べ，コスト評価を行う。

- (28) ターゲットリストの拡張によるデータベース出版および概視の実現

遠山元道（慶大）

〔概要〕 目的フォーム式（TFE）の提案および実装について報告する。

- (29) コネクションマシンCM-2による大規模関係データベース処理とその評価

岡田英明，松本和彦，喜連川優（東大）

〔概要〕 外部記憶装置を持つCM-2でのデータパラレルDB処理アルゴリズムの実装とその詳細な評価。

- (30) ハードウェア進歩のデータベース研究への影響

上林弥彦，高倉弘喜（京大），目木信太郎（岡山県立大）

〔概要〕 記憶装置やデータ構造研究を反映したファイル構造，並列処理などの新しいモデル化を検討する。

- (31) 「出世魚」の上にも3年

牧之内顕文，天野浩文，白 光一，江 允，有次正義，寺本圭一（九大）

〔概要〕 本プロジェクト開始後3年たった，現在までの成果と今後の課題について述べる。

* 7月22日（木）夜に卓袱料理をメインにした懇親会（8,000円程度）を予定していますので，奮ってご参加ください。

* 「ホテルセントヒル長崎」の宿泊申し込みは満室につき締め切らせて頂きました。（長崎市内には1泊5000円程度のビジネスホテル等が数多くあります。路面電車の駅に近いホテルを探して頂ければ，会場までの交通は容易です。）

問合せ先：掛下哲郎（佐賀大） Fax. (0952) 24-6010 e-mail: kake@is.saga-u.ac.jp

* 今回の研究会は電子情報通信学会（データ工学研究会）との共催で開催されます。

◆第84回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数:8件)

(主査:杉原厚吉,幹事:井宮 淳,谷口倫一郎,長谷川純一)

日 時 平成5年7月22日(木)10:00~16:30

会 場 岡山大学 工学部 情報工学科 2階 第11番教室

[岡山市津島中3-1-1, JR:岡山下車,バス(岡山大学,妙善寺行(駅前バスターミナル1番乗場)):岡大東門下車(約20分). Tel. (086) 252-1111 (ex.8178 浅田)]

議 題

—10:00~12:00—

(1) 細線化画像を用いた指文字認識

広瀬健一(産業技術短大)

[概要] 細線化画像を基にして求まる指の形状特徴による日本語指文字の認識について報告する。

(2) デジタル直線の幾何学的特性に基づいた $\gamma-\omega$ Hough変換の高精度化

関真規人, 和田俊和, 松山隆司(岡山大)

[概要] 直線検出用の $\gamma-\omega$ ハフ変換の高精度化を行うためにデジタル直線の幾何学的特徴を明らかにした。

(3) デジタル画像における直線成分抽出のためのアルゴリズム

浅野哲夫(大阪電通大), 加藤直樹(神戸商大)

[概要] デジタル画像から直線成分を抽出する問題の計算複雑さを解析し, 効率のよい算法を提案する。

—13:00~16:30—

(4) カメラ回転方式によるパラメータの高精度化

深田陽司(三菱電機)

[概要] 提案ずみのカメラパラメータ算出近似法の解(平行移動)を原式に代入することによって精度を高める。

(5) コンピュータビジョンのためのくりこみ法

金谷健一(群馬大)

[概要] 最小二乗解には統計的偏差があることを示し, 反復によって偏差を除去する一般論と応用を述べる。

(6) 多重フォーカス画像を用いたエッジ検出と距離計測

浅田尚紀(岡山大), 藤原久永(岡山県工業技術センター), 松山隆司(岡山大)

[概要] フォーカス変化による多重画像の性質を明らかにしエッジ検出および距離計測を安定に行う手法を示す。

(7) 物体の次元性と方向性

井宮 淳, 中居大輔, 市川 薫(千葉大)

[概要] 環境の中での物体の次元性・方向性・重心位置を決定する並列計算モデルを提案する。

(8) 再帰トラス結合アーキテクチャ上での並列画像解析アルゴリズムの構成

青山正人, 浅田尚紀, 松山隆司(岡山大)

[概要] データの分散表現と並列データ通信を要素とした並列画像解析アルゴリズムを構成する。

*研究会終了後, 松山研究室の見学(40分程度)を予定しております。

◆第30回 情報学基礎研究会

(発表件数:7件)

(主査:細野公男,幹事:石塚英弘,中川 優,尹 博道)

日 時 平成5年7月26日(月)9:30~17:00

会 場 北海道大学 工学部 A377教室

[札幌市北区北13条西8丁目, JR:札幌下車,地下鉄(南北線):北12条下車,徒歩15分. Tel. (011) 716-2111]

議 題 特集:インテリジェント・インタフェース —協調支援の側面を中心に—

—9:30~11:45—

(1) 全文検索によるCD-ROMガイドブックの内容検索

伊藤史朗, 酒井桂一, 山田雅章, 小森康弘, 上田隆也, 藤田 稔(キャノン)

[概要] 一部にデータモデルを構築できる文書に対する全文検索手法と音声対話システムへの応用を説明する。

(2) CastingNet:大規模情報を分析するためのハイパーメディアアプリケーションフレームワーク

植田 学, 増田佳弘, 石飛康弘(富士ゼロックス)

[概要] 未体系の大量情報群を自動的に組織化, 結果を視覚的インタフェースを用いてブラウジングするシステム。

(3) データ信頼度成長モデルの提案

中村敏夫, 伊土誠一, 石垣昭一郎(NTT)

[概要] データベースにおけるデータの信頼性評価のための信頼度成長モデルを提案する。

—12:45~17:00—

(4) ネットワークプロクセミック論

野々垣旦(富士通研)

[概要] メディア空間の中でわたしたちの実世界の関係とコミュニケーションが受ける変容について論じる。

(5) 化学情報用インタフェース

八田進平(ソニー)

[概要] 分子モデリング・システムCACHé(キャッシュ)を例に入出力/編集, 可視化等について述べる。

(6) Vocalogの視覚的プログラミング環境

後藤文太朗(北見工大)

[概要] プログラムの作成, デバッグ, インタフェースの設計の3つのレベルを統合してつなぎめなく扱う。

(7) 機能オブジェクトの3次元化 (IntelligentPad の3次元化) とその合成について

岡田義広, 田中 譲 (北大)

[概要] 3次元化された機能オブジェクトの直接操作による機能合成について述べる。

(8) 見学 (16:00~): 田中譲研究室 (IntelligentPad のデモンストレーション)

- ◆人工知能研究会
- ◆計算機アーキテクチャ研究会
- ◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会
- ◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会
- ◆プログラミング—言語・基礎・実践—研究会
- ◆アルゴリズム研究会

1993年並列／分散／協調処理に関する『鞆の浦』サマー・ワークショップ (SWoPP 鞆の浦'93)

参加申込募集

上記6研究会は、「1993年並列／分散／協調処理に関する『鞆の浦』サマー・ワークショップ (SWoPP 鞆の浦'93)」と題し、並列／分散／協調処理を横断的なキーワードとして、研究会を同時・連続開催いたします。プログラムは会誌7月号に掲載いたしますが、参加申込の方法をご案内します。多数の方々のご参加をお待ちします。

日 程 平成5年8月18日(水) システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会 (OS)
 人工知能研究会 (AI) (18日・19日の2日間)
 8月19日(木) アルゴリズム研究会 (AL)
 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会 (PRG) (19日・20日の2日間)
 計算機アーキテクチャ研究会 (ARC) (19日・20日の2日間)
 8月20日(金) ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (HPC)

会 場 鞆シーサイドホテル (広島県福山市鞆の浦)

参加申込方法

会場(ホテル)に直接FAX, または郵便にて住所, 所属, 氏名, 電話, FAX 番号, 電子メールアドレスを記入した用紙を送付してください。折返し詳しい参加申込案内を送付いたします。

参加申込用紙送付先

720-02 広島県福山市鞆町鞆555 鞆シーサイドホテルSWoPP 担当係
 Fax. (0849) 82-3122 Tel. (0849) 82-5111

電子メールによる問合せ方法

SWoPP に関するメイリングリストを開設しています。SWoPP に関する最新の詳しい情報が必要な方は是非 **swopp-request@etl.go.jp** あてに本文に addyour-email-address と送ってください。この your-email-address は必ずあなたのメールアドレスに書き換えてから送ってください。

参加申込に関する問合せは会場(ホテル)または電子メールにて swopp93-secretary@etl.go.jp までお願いします。

◆情報学基礎研究会

第31回研究会を下記のとおり開催いたします。希望者は下記までご連絡ください。多数のご応募ご参加をお待ちしております。

日 程 平成5年9月14日(火)
会 場 東京(詳細は8月号に掲載)
テ ー マ 情報学基礎全般

発表申込締切 平成5年6月25日(金)

連 絡 先 尹 博道(富士通・1-2 開発) Tel. (0559) 23-2222 Fax. (0559) 24-6173
 石塚英弘(情報大・図書館情報) Tel. (0298) 52-0511 Fax. (0298) 52-4326

◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

第2回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

日 程 平成5年9月17日(金)午後

会 場 工学院大学(新宿)

テ ー マ LANにおけるマルチメディア環境の実現

発表申込締切 平成5年6月30日(水)

◆ソフトウェア工学研究会

第94回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。多くのご応募をお願いいたします。

日 程 平成5年9月21日(火)

会 場 日本大学 理工学部(神田)

発表申込締切 平成5年6月30日(水)

◆情報メディア研究会

◆グループウェア研究会

上記研究会の合同研究発表会を平成5年10月28日(木)・29日(金)の両日、三重大学にて開催いたします。

詳細は前号(5月号)会告欄に掲載されておりますので、ご参照ください。多数の発表申込、および参加をお待ちしております。

発表申込締切 平成5年7月20日(火)

*研究会に発表申込希望者は開催日の3ヶ月前までに研究会発表申込書(4月号本欄未添付)を事務局研究会係までご送付ください。

◆第9回 テクニカルコミュニケーション研究グループ

(発表件数:2件)

(主査:山田尚勇,幹事:牛島和夫,空閑茂起,福島敏高)

日 時 平成5年7月14日(水)13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修2号室

[東京都港区芝公園3-5-8,地下鉄:日比谷線神谷町,浅草線大門,三田線御成門下車,またはJR:浜松町下車,バス:渋谷-東京タワー線東京タワー,渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. (03) 3434-8211]

議 題

(1) 音響フィードバックを用いた3次元操作インタフェース

吹野美和(松下電器)

(2) ディスプレイベースのHICの認知モデル

北島宗雄(生命工学工業技術研)

参 加 費 年間登録者:5,000円/5回分,未登録者:2,000円/回

問合せ先 福島,杉田(富士通) Tel. (03) 3216-9725 Fax. (03) 3215-5987

◆ドメイン分析/モデリング研究グループ

前々号(4月号)に掲載されました第1回研究会の連絡先の記載に誤りがありました。お詫びいたしますとともに、下記のとおり訂正いたします。

主査 伊藤 潔(上智大) Tel. (03) 3238-3885(誤) → Tel. (03) 3238-4143(正)

幹事 伊藤光恭(N T T) Tel. (03) 3740-9170(誤) → Tel. (03) 3740-5715(正)

平成5年度各種行事の予定について

4月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご留意ください。

(行 事)	(期 日)	(会 場)
第35回通常総会	5・19(水)	工学院大学
第47回全国大会	10・6(水)～8(金)	鳥取大学
第48回全国大会	平成6年 3・22(火)～25(金)	東京理科大学
平成5年電気・情報関連学会連合大会(共催)	8・30(月)～31(火)	早稲田大学
(シンポジウム)		
1993年並列処理	5・17(月)～19(水)	早稲田大学
利用者指向の情報システム	6・18(金)～19(土)	日本ユニシス
Groupware '93	7・8(木)	工学院大学
第26回情報科学若手の会	8・3(火)～5(木)	ホテル華の湯(仙台)
夏のシンポジウム	7・19(月)～21(水)	北海道・池田町
DAシンポジウム'93	8・26(木)～28(土)	南風荘(蒲郡市)
メディアと情報処理	平成6年 2・17(木)～18(金)	工学院大学
グラフィクスとCAD	9・21(火)～22(水)	工学院大学
コンピュータシステム	10・20(水)～21(木)	工学院大学
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	11・17(水)～19(金)	山形大学
知識のリフォーメーション'93	11・25(木)～26(金)	東京工業大学
アドバンスト・データベース・システム	12・2(木)～3(金)	工学院大学
初等中等教育における計算機教育	12・7(火)～9(木)	工学院大学
第35回プログラミング・シンポジウム	平成6年 1・11(火)～13(木)	ホテル小涌園(箱根)
(連続セミナー)		
CASEの問題点と今後の方向	5・13(木)	工学院大学
社会と文化とグループウェア	7・15(木)	工学院大学
コンピュータネットワークの今後	9・16(木)	工学院大学
情報家電の将来性	11・18(木)	工学院大学
ヒューマニティ時代への布石	平成6年 1・20(木)	工学院大学
情報セキュリティ	平成6年 3・17(木)	工学院大学
(講習会)		
オブジェクト指向分析・設計	5・27(木)～28(金)	工学院大学
アドバンスト・データベース・システム	12・1(水)	工学院大学
講演会(教育)	12・16(木)	工学院大学
情報学	平成6年 1・17(月)	日本学術会議講堂
(共 催)		
第24回画像工学コンファレンス	12・8(水)～10(金)	ABC会館
情報学シンポジウム	平成6年 1・18(火)～19(水)	日本学術会議講堂
(国際会議共催)		
ISADS: Int'l. Symposium on Autonomous Decentralized Systems	3・30(火)～4・1(木)	日立システムプラザ新川崎
DASFAA: 3rd Int'l. Symposium on Database Systems for Advanced Applications	4・6(火)～8(木)	Taejon, Korea

第47回全国大会予約案内

第47回全国大会（平成5年後期）の講演論文集・参加・懇親会の「予約」を募集いたしますので、ぜひお申込みください。よろしくお願いいたします。

期 日：平成5年10月6日（水）～8日（金）

会 場：鳥取大学工学部（鳥取市湖山町南）

論文集：B5版オフセット印刷 *論文集価格は消費税・送料込です

■第1分冊予約価 4,000 円（定価 6,000 円）

情報科学一般

基礎理論及び基礎技術

ネットワーク

応用

■第2分冊予約価 4,000 円（定価 6,000 円）

人工知能及び認知科学

人工知能システム

パターン認識

生体情報処理

感性情報処理

データ処理

音声処理

画像・図形処理

■第3分冊予約価 4,000 円（定価 6,000 円）

人工知能及び認知科学

基礎理論

自然言語処理

データ処理

テキスト処理

マルチメディア処理

■第4分冊予約価 4,000 円（定価 6,000 円）

ソフトウェア

基礎理論

オペレーティングシステム

データベース・情報検索

プログラミング技術

信頼性と安全性

■第5分冊予約価 4,000 円（定価 6,000 円）

ソフトウェア

プログラム言語及び仕様記述言語

言語処理系

ツール

ソフトウェア工学

■第6分冊予約価 4,000 円（定価 6,000 円）

ハードウェア

システム

■セット（上記6冊一揃、講演者索引・カバー付）予約価 24,000 円（定価 36,000 円）

参加費（プログラム・参加章含む）：会 員 1,000 円（賛助会員は正会員に準じます）

非会員 2,000 円、学生無料

申込締切：平成5年8月27日（金）必着

（締切後は予約扱いいたしませんので、ご了承ください）

第 47 回（平成 5 年後期）全国大会
論文集・参加・懇親会予約申込書

■申込締切：8 月 27 日（金）必着

分冊	予 約 金 (円)	部 数	金 額 (円)
第 1 分冊	4,000		
第 2 分冊	4,000		
第 3 分冊	4,000		
第 4 分冊	4,000		
第 5 分冊	4,000		
第 6 分冊	4,000		
セット（6冊一揃）	24,000		
参 加 費 (プログラム, 参加章含む)	会 員 1,000		
	非会員 2,000		
懇 親 会	4,000		
合 計			

平成 5 年 月 日 (論文集価格は消費税・送料込)
上記の通り予約いたします。

1. 代金は ☐郵便振替, ☐銀行振込* (該当に✓印) 送金月日 月 日
* 全国大会専用銀行口座「三菱銀行虎ノ門公務部, 情報処理学会講習会, 普通口座, No. 0003774」
2. 請求書 通, 納品書 通, 見積書 通が必要です。
〔注意〕団体名でまとめて送金される場合には, 別紙に込金内訳を記入して, 事務局までお送りください。

通信欄:

3. 担当者名 Tel. () - (ex.)
4. 申込先: 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
(社)情報処理学会 全国大会係
Tel. (03) 5322-3535, Fax. (03) 5322-3534

----- (切りはなさないでください) -----
(楷書でハッキリ記入してください)

送本先
住所 

機関・
部課名

フリガナ
氏 名 殿 (会員番号)

Tel. () - (ex.), Fax. () -

〔部数〕(記入しないでください)
論 (1, 2, 3, 4, 5, 6, セ) プ, 参, 懇

「コンピュータシステム・シンポジウム」の論文募集

コンピュータの高性能化、ネットワークの発達、コンピュータ利用形態の多様化などにより、今日、システムソフトウェア、オペレーティングシステム(OS)に新しい技術が求められるようになってきています。システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会では、過去4回、標記シンポジウムを開催し、多数の参加を仰ぎ、大きな成果を得てまいりました。この度は、システムソフトウェアおよびOSの研究・開発に携わる人、利用する人が一堂に会して、幅広い議論を行うことを目的に、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。下記2テーマの小特集も設定いたします。多数の論文投稿をお待ちしております。

日 時 平成5年10月20日(水)～21日(木)
場 所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)

トピックス 小特集:(1)分散/超並列システムのシステムソフトウェア

(2)コンティニユアス・メディアを対象としたシステムソフトウェア

(小特集以外にもシステムソフトウェアに関連したテーマ全般を対象とします)

分散OS, マルチプロセッサOS(並列OS), リアルタイムOS, ファイルシステム, 分散開発環境, マルチメディアシステム, データベース・オペレーティングシステム, ユーザインターフェースとOS, 高性能化, 高信頼化, セキュリティ, OSの運用・管理, 性能評価, マイクロカーネルなど

- 実施方法**
- (1)応募される場合は、論文内容がよくわかるように記述した論文概要(A4判用紙2枚)を5部提出してください。
 - (2)応募論文は、論文概要をもとに、プログラム編成委員会において審査します。採用されたものについては、本論文(A4判用紙8枚以内、カメラレディなもの)を提出してください。
 - (3)完成された研究論文だけでなく、新しい提案や問題提起など、さまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
 - (4)関心の高いテーマについて、チュートリアル講演、招待講演、パネル討論会などを予定しています。
 - (5)スケジュール
論文概要提出締切 平成5年6月18日(金)
採否通知 平成5年7月19日(月)までに通知
本論文提出締切 平成5年9月17日(金)

シンポジウム実行委員長 鈴木 則久(日本IBM東京基礎研究所)

プログラム編成委員会 清木 康(委員長, 筑波大), 石川 裕(電総研), 笠原 博徳(早大),
加藤 和彦(筑波大), 清水謙多郎(電通大), 徳田 英幸(慶大), 萩野 達也(慶大),
横手 靖彦(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

連絡先・論文提出先

160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
(社)情報処理学会シンポジウム係
Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

「Groupware'93 シンポジウム」開催について

——マルチメディアと通信インフラストラクチャ——

現在、映像・音声・データなどを同時に扱えるマルチメディアコンピューティング技術の進展と通信ネットワークの高速化・広帯域化によって、人間が日常行う協調作業を、時間と空間の壁を超えて作業空間を共有し、協調して作業を行う環境に関する研究開発が活発化しつつあります。しかし、人間の協調作業は人間の振舞い、組織や社会のあり方に深く関係しており、これを支援するシステムは、技術面だけでなく、行動科学、心理学といった人間的側面、さらに組織構造論や社会心理学といった社会的側面をも考慮したシステムであることが理想です。

グループウェア研究会は学際的な側面から協調行動支援に関する研究発表、議論を行っており、その一環としてシンポジウムを開催することとなりました。

平成4年10月23日慶応義塾大学において「グループウェア'92—グループウェアはマルチサイトオフィスのインパクトとなるか—」と題するシンポジウムを開催しました。情報、通信分野の研究者、技術者のみならず社会学、心理学、経営・組織論など工学以外の分野からも多数の参加を得、活発な討論を行いました。

今回は、その第2回として人間の社会活動を支える通信インフラストラクチャと情報処理システムのあり方を、技術的、人間的、社会的の各側面から議論し、今後の動向を展望します。ご興味のある方の多数のご参加をお待ちしております。

日時 平成5年7月8日(木) 10:00~17:00
場所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)
主催 情報処理学会グループウェア研究会
参加費 会員10,000円 非会員15,000円 学生3,000円
 論文集のみ4,000円(送料込み)
申込締切 平成5年6月21日(月)(定員100名になり次第締め切らせていただきます。)
申込先 160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
 (社)情報処理学会 シンポジウム係

プログラム

基調講演 (10:00~10:20)
 通信インフラストラクチャの歴史的転換期 松下 温(慶大)
招待講演1 (10:20~11:10)
 グループウェア実現のためのマルチメディアネットワークと分散処理技術 阪田 史郎(NEC)
招待講演2 (11:10~12:00)
 グループウェアからみた通信ネットワークの展開と課題 木下 研作(NTT)
パネル討論 (13:30~17:00)
 人間・社会は技術に何を求めるか? 座長:松下 温(慶大)
 概要:協調行動の支援に関して、マルチメディアと通信インフラストラクチャの技術進展は技術課題の彼方にある人間の視点、社会の視点を必然的に顕在化します。グローバルな視点から新しい社会、新しい時代は技術に何を求めるかを「技術の前に人間ありき、技術の前に社会ありき」という観点から、組織科学、行動科学、心理学などの権威を含めて加わっていただき議論します。
パネリスト 会津 泉(国際大)、落合 勲(信州短大)、川崎 賢一(駒沢大)
 野中郁次郎(一橋大)、米田 英一(東芝)、未 定(郵政省)

「Groupware'93 シンポジウム」
参 加 申 込 書

平成 5 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○で囲む）

会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生 3,000 円

* 参加費には資料代が含まれています。

○論文集のみ（4,000 円，送料込） _____ 冊

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計 _____ 円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先

機関・
部課名

フリガナ
氏 名

会員番号

殿 ()

Tel. _____ (ex. _____) Fax. _____

「DA シンポジウム '93」開催について

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。参加ご希望の方は、期日までに必要事項を申込書に記入のうえお申し込みください。

日 時 平成 5 年 8 月 26 日 (木) 12:00 受付開始 (この日の昼食は用意しません) 13:00 開会～
28 日 (土) 12:00 散会

場 所 西浦温泉南風荘 (愛知県蒲郡市西浦町)
Tel. (0533) 57-2101, Fax. (0533) 57-1744
交通路線バス: 東海道線蒲郡駅～西浦温泉 35 分, タクシー: 同左 25 分

主 催 情報処理学会 設計自動化研究会
参 加 費 研究会登録会員 32,000 円, 会員 37,000 円, 学生 20,000 円, 非会員 42,000 円
(宿泊費 (2 日目昼食, 消費税込み), 懇親会費を含む)

申込締切 7 月 30 日 (金)

連絡先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
(社) 情報処理学会 DA シンポジウム係 Tel. (03) 5322-3535, Fax. (03) 5322-3534
注) 参加申込後, やむを得ず参加を取り消される場合は, 8 月 13 日 (金) までにお願ひします。取り消しの連絡のない場合は, 準備の都合上, 参加費を徴収させていただきます。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 8 月 26 日 (木)

受付開始 (12:00～)

開 会 (13:00～)

<会場 A>

セッション A-1 高位・論理合成 (1) (13:30～15:00)

An ASIP Instruction Set Optimization Algorithm With Execution Cycle Constraint

Alauddin ALOMARY, Takeharu NAKATA, Yoshimichi HONMA, Masaharu IMAI (Toyohashi University of Technology), Nobuyuki HIKICHI (Software Research Associates, Inc.)

ハイレベル合成実験システム RODIN

間藤 隆一, 荒木 均, 加藤 等, 野島 晋二 (松下電器)

Layout-Driven Module Selection for Register-Transfer Synthesis of Sub-micron ASICs

V, Moshnyaga, Y.Mori, K.Tamaru (Kyoto University)

— (15:00～15:30) —

セッション A-2 高位・論理合成 (2) (15:30～17:00)

意味単一化子を利用したマイクロプログラム自動合成手続き

木下 貴史 (豊橋技科大), 直井 徹 (岐阜大), 今井 正治 (豊橋技科大)

ASIP 向きハードウェア/ソフトウェアコデザインシステム PEAS-I のハードウェア生成系

中田 武治 (豊橋技科大), 佐藤 淳 (鶴岡工業高専), 塩見 彰睦,

今井 正治 (豊橋技科大), 引地 信之 (SRA)

含意グラフを利用した多段論理回路最適化手法

湯口 雅之, 若林 一敏, 藤田 友之 (NEC)

<会場 B>

セッション B-1 自動レイアウト (1) (13:30～15:00)

フロアプランニングにおける階層構造最適化に関する一考察 玉柏 和男, 山内 貴行, 神戸 尚志 (シャープ)

ミニカット法に基づく遅延考慮配置手法

小林 進, 石川 正樹, 藤田 友之 (NEC)

レイアウト要素の形状自由度を考慮したコンパクション手法

岡田 和久, 小野寺秀俊, 田丸 啓吉 (京大)

— 休憩 (15:00～15:30) —

セッション B-2 自動レイアウト (2) (15:30～17:00)

GLORIA: セル上配線を考慮したスタンダードセル概略配線システム

小出 哲士, 鈴木 武志, 若林 真一, 吉田 典可 (広島大)

ネットワークフローに基づくフィードスルー割当アルゴリズム

岡本 匠, 石川 正樹, 藤田 友之 (NEC)

高速 LSI 用チャネル配線プログラム

武井雄一郎, 原田 育生, 北沢 仁志 (NTT)

ー タ 食 (18:00~19:30) ー

イブニング討論 (19:30~22:00)

第 2 日 8 月 27 日 (金)

<会場 A>

セッション A-3 CAD フレームワーク (8:30~10:00)

複数の CAD フレームワークへのツール組み込み共通化方式

安田 光宏, 高瀬 和彦 (三菱)

協調設計支援システム (COMET) における設計プロダクト管理手法

細田 泰弘 (NTT)

機能レベルプロシージャルインターフェース手法とその評価

岩崎 知恵, 川口 謙一, 福井 正博, 村岡 道明 (松下電器)

ー 休 憩 (10:00~10:20) ー

セッション A-4 回路設計支援 (1) (10:20~11:50)

VHDL モデルによる PKG シミュレーション

大森 健太 (NEC), 松岡ゆきお,

長谷川光二, 前田 和宏 (NEC ソフトウェア神戸), 田中 利明, 廣瀬 隆雄, 藤浪 克美 (NEC)

論理合成向き仮想遅延の検証精度向上

野地 保, 濱田 英幸, 浦野 真帆 (三菱)

拡張 Verilog-HDL を用いたデータパス・ライブラリの構築法

近藤 芳人, 山崎 孝雄, 岩瀬清一郎 (ソニー)

ー 昼 食 (11:50~13:00) ー

セッション A-5 検証 (13:00~14:00)

同期式順序回路の設計検証例

森岡 澄夫, 北道 淳司, 東野 輝夫, 谷口 健一 (阪大)

パイプライン制御プロセッサの形式検証

庄内 亨, 清水 嗣雄 (日立)

セッション A-6 並列処理 CAD (1) (14:00~15:00)

マルチワークステーション上の並列 DA システム

一大規模並列マシンへの移行性を考慮した実行環境と DA システムー

瀧 和男, 小西 健三 (神戸大)

汎用エンジン RM-II とその応用

富田 昌宏, 菅沼 直昭, 澄川 文徳, 平野浩太郎 (神戸大)

ー 休 憩 (15:00~15:30) ー

セッション A-7 機能設計支援 (15:30~18:00)

COACH: 計算機アーキテクチャ設計システム

赤星 博輝, 安浦 寛人 (九大)

Archimmedes におけるメタ記述を用いた high level Simulation のアプローチ

小田原都子, 栗山 和則, 坪島 麻子 (日立)

動作機能図入力システム Bchart の評価

仲谷 和恵, 高井 裕司, 松本 道弘, 岩崎 知恵, 村岡 道明 (松下電器)

設計初期における概略ディレイ評価の一手法

芳野 泰成, 清水 嗣雄 (日立)

トップダウン設計方式の信号処理 LSI 設計への適用

高橋 瑞樹, 山口 雅之, 野田 浩明, 竹田 信弘, 藤本 徹哉, 神戸 尚志 (シャープ)

<会場 B>

セッション B-3 テスト (8:30~10:00)

非冗長組合せ回路と極小テスト集合の同時生成について

梶原 誠司, 樹下 行三 (阪大)

クロスチェック技術の適用例と一考察

伊藤 秀昭 (沖電気)

論理関数処理によるスキャン設計順序回路に対するコンパクトなテスト系列の生成

樋口 博之 (富士通研), 濱口 清治, 矢島 脩三 (京大)

ー 休 憩 (10:00~10:20) ー

セッション B-4 BDD (10:20~11:50)

大きな共有二分決定グラフを扱うための幅優先アルゴリズム

越智 裕之, 安岡 孝一, 矢島 脩三 (京大)

異なる内部変数を持つ論理関数の BDD 上での比較について

木村 晋二 (奈良先端科技大学院大)

非共有記憶型並列計算機での二分決定グラフの並列処理アルゴリズムについて

木村 晋二 (奈良先端科技大学院大), 松本 高明, 羽根田博正 (神戸大)

ー 昼 食 (11:50~13:00) ー

セッション B-5 FPGA (13:00~14:00)

配線密度と線長分の均一化を指向する新しい配置配線手法の提案—FPGA の配置配線問題への適用例—

中武 繁寿, 梶谷 洋司 (北陸先端科学技術大学院大)

FPGA を対象とした配置概略配線同時処理手法

戸川 望, 佐藤 政生, 大附 辰夫 (早大)

セッション B-6 モジュールジェネレータ (14:00~15:00)

高性能モジュールコンパイラ 黒沢 幸子, 山田 正昭, 野島 玲子, 三橋 隆 (東芝)
 モジュールジェネレータ開発容易化手法—設計手順の保存と再利用化—
 森江 隆史 (京大), 山下 直也 (東洋エンジニアリング), 小野寺秀俊, 田丸 啓吉 (京大)
 —休憩 (15:00~15:30) —

セッション B-7 回路設計支援 (2) (15:30~18:00)

回路図面自動生成における素子配置の一手法 中谷 隆, 米澤 典剛 (NEC)
 アナログ回路コンパイラ用の回路図表示 西 芳弘, 武内 良典, 伊東 正安 (農工大)
 設計知識と最適化手法を併用したアナログ集積回路自動設計システムの試作
 河野 道成, 山口 二男, 盧 金勤 (ソニー), 足立 武彦 (横浜国大)
 ASIC 設計におけるライブラリデータ検証の自動化
 加藤 哲也, 中西 早苗, 豊田 徹, 山口 高, 佐久間 洋 (NEC)
 高速・高精度ポストレイアウトシミュレーションのための回路データ削減手法とその一例
 菅原 康紀 (沖電気)

懇親会 (19:00~)**第3日 8月28日 (土)****<会場 A>****セッション A-8 並列処理 CAD (2) (8:30~10:00)**

温度並列シミュレーテッドアニーリング法に基づくスタンダードセル配置プログラム
 伊達 博 (新世代コンピュータ技術開発機構), 瀧 和男 (神戸大)
 領域分割型並列配線における負荷均等化手法 菊池 淳, 白石 洋一 (日立)
 プロセッサ競合方式による並列自動配線—品質改善の試み— 佐野 雅彦 (徳島大)
 —休憩 (10:00~10:20) —

招待講演 (予定) (10:20~11:50)

並列計算機の研究開発動向 富田 眞治 (京大)

~~~~~

「DA シンポジウム'93」

参加申込書

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○で囲む）

研究会登録会員 32,000 円，会員 37,000 円，学生 20,000 円，非会員 42,000 円

\*参加費には資料代が含まれています。

○論文集のみ（5,000 円，送料込）\_\_\_\_冊

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計\_\_\_\_円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で\_\_\_\_月\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先

注）申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（Fax. も可）

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者

連絡先〒

機関・

部課名

フリガナ  
氏 名

会員番号

殿（ ）

Tel. (ex. ) Fax.



## プログラミング・シンポジウムについて

### 第35回 プログラミング・シンポジウム発表募集

プログラミング・シンポジウムは通常のシンポジウムとは異なり、自由な雰囲気の中で、計算機の無限の可能性を話し開拓していく「夢のシンポジウム」を目指したものです。1960年に第1回が開催されて以来これまでに、将来を展望したプログラミング技術等に関して、毎年活発な討論が行われ、その中から数多くの斬新なアイデアが生まれてきました。

- (1) 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見の交換の場であると考えています。(夕食後にも、自由討論の会場を用意します。)
- (2) 情報処理の発展のために、多数の方々が参加され、活発に発言されることを期待します。
- (3) 未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します。
- (4) ポスタ発表およびデモンストレーションなどの場所を用意します。

**日時** 平成6年1月11日(火)午後1時より13日(木)正午まで

**場所** 箱根ホテル小涌園

**問合せ先** 情報処理学会 シンポジウム係 Tel. (03) 5322-3535

**発表申込** 9月4日(土)までに、氏名、所属、連絡先(e-mail アドレスも)、発表の題と要旨をA4判用紙1〜2枚に書いて事務局宛にお送りください。その採否は9月末までにお知らせいたします。発表原稿の締切は11月19日(金)です。発表は口頭発表およびポスタ発表が可能です。ポスタ発表希望の方は申込時にその旨を明記してください。

**参加申込** 10月号に参加申込書を、また11月号にプログラムを掲載する予定です。

会  
告

## 第26回 情報科学若手の会シンポジウム開催のご案内

**日時** 1993年8月3日(火)13:00より5日(木)13:00まで

**場所** ホテル華の湯(仙台市・秋保温泉 Tel. (022) 397-3141)

**定員** 50名

- 内容**
- (1) 分野を限定した研究会やシンポジウムとは異なり、情報科学全般の分野の若手研究者が集まり、形式や成果にとらわれず自由な討論をおこなう場
  - (2) 未完成であっても、将来に影響を与えるような、話題を歓迎します

**参加資格** 情報科学および関連分野で、研究・実務に携わっている若手研究者・技術者

**参加費** 22,000円(食費込み、遠方からの参加者には交通費一部補助)

**参加申込** A4判の用紙に氏名、所属、連絡先、電話番号、E-mail アドレス、発表題目、発表内容の要旨を記入して送付のこと。E-mail でも受け付けます。

**申込締切** 1993年7月20日

**問合せ先** 980 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学電気通信研究所

電気通信方式部門 若手の会幹事 佐藤 究

Tel & Fax. (022) 212-1479, E-mail: wakate@ricc.tohoku.ac.jp

1993年 月 日

## 「連続セミナー93」参加申込／議事録バックナンバ申込書

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。（申込書は1人1枚としてください）

◎参加費（6回分） 該当するものを○で囲む

正会員、賛助会員 70,000円 非会員 90,000円 学生会員 10,000円

☆参加費には資料代が含まれています。

◎議事録のみ（1回分）

91年度 会員 20,000円（1冊） 非会員 25,000円（1冊）

第1回 パーソナルコンピュータとワークステーションの90年代の課題

\_\_\_\_\_冊

第2回 パーソナルコンピュータとワークステーションのマルチ、ハイパーメディア化

\_\_\_\_\_冊

第3回 CISC対RISC CPUのこれから

\_\_\_\_\_冊

第4回 DOSとUNIXとソフトウェアツールのこれから

\_\_\_\_\_冊

第5回 インターパーソナル・コンピューティングのこれから

\_\_\_\_\_冊

第6回 2001年のパーソナルマシン

\_\_\_\_\_冊

92年度 会員 25,000円（1冊） 非会員 30,000円（1冊）

第1回 ダウンサイジングとオープン化の課題

\_\_\_\_\_冊

第2回 マルチメディアコンピューティングの課題

\_\_\_\_\_冊

第3回 パソコンの新入力方式のインパクト

\_\_\_\_\_冊

第4回 オブジェクト指向アプリケーションをとりまく環境

\_\_\_\_\_冊

第5回 分散コンピューティングの進展

\_\_\_\_\_冊

第6回 硬軟技術限界予測

\_\_\_\_\_冊

93年度 資料代 5,000円（1冊）

第1回 CASEの問題点と今後の方向

\_\_\_\_\_冊

◎送金方法

☆合計 \_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います

b) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金取扱銀行 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店

送金人名義 \_\_\_\_\_

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

\* 分割でのお支払いも可能です。

分割希望回数 \_\_\_\_\_ 回

送金予定 \_\_\_\_\_

申込先・送金先 情報処理学会連続セミナー係（Fax. も可）  
 〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F  
 Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_フリガ  
氏名 \_\_\_\_\_

殿（会員番号 \_\_\_\_\_）

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

## 本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内\*

### <国内会議>

講習会「遺伝的アルゴリズムとその応用」

平成5年6月1日(火)

東京・明治大学

講習会「ファジィ理論の基礎」

平成5年7月12日(月)～13日(火)

東京工業大学

講習会「デザインのためのファジィ」

平成5年7月23日(金)

東京・明治大学

電気学会電力・エネルギー部門平成5年大会

平成5年7月28日(水)～30日(金)

北海道大学工学部

第30回記念サマーセミナー「21世紀を担う新しい光学の基盤技術」

平成5年8月25日(水)～27日(金)

長野県・山王閣

システム制御情報イープニングスクールチュートリアル講座「アドバンス制御の基礎」

平成5年9月7日(火), 10日(金), 14日(火), 21日(火), 24日(金)

大阪マーチャンダイズマートビル

教育講座「LSI・CADコース」

平成5年9月21日(火), 28日(火), 10月5日(火), 12日(火), 19日(火), 26日(火), 11月

4日(木), 9日(火)

川崎市・KSP西棟

### <国際会議>

高性能計算におけるベンチマークと性能評価に関するワークショップ

1993年7月23日(金)

東京・早稲田大学

通信・放送機構第1回国際シンポジウム

1993年12月6日(月)～7日(火)

東京・郵政省飯倉分館

APORS'94-第3回 APORS 国際会議

1994年7月26日(火)～29日(金)

福岡リーセントホテル

IIZUKA'94-第3回ファジィ論理, 神経ネットワーク及びソフトコンピューティングに関する国際会議

1994年8月1日(月)～7日(日)

福岡県飯塚市

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 平成5年度会費・論文誌購読費の納入について(お願い)

本年度の会費・購読費未納の方には, 6月下旬に郵便振替用紙を発送いたします。会費・購読費は前納を原則としておりますので, 未納の方は早急にご納入くださいますようお願いいたします。

なお, 7月末日までに納入いただけない場合は, 9月から学会誌・論文誌の発送を停止させていただきます。後日ご納入いただいても, 停止期間の学会誌・購読誌をお送りできないこともありますのでご了承ください。

〔自動振替納入ご利用の方へ〕

去る3月29日に振替未済の方は, 7月27日に再振替いたします。

振替金額は7月上旬にあらためてご通知いたしますので, 預金残高をご確認いただき, 振替額不足にならないようご注意ください。振替された場合には, 預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。

## マルチメディア通信と分散処理研究会 小規模国際会議 「タイ一日合同 情報・通信ネットワークワークショップ」論文募集

本会議は、広く情報通信全般にわたって最新の研究成果を発表し、タイ一日の研究者が活発に討論する場を提供することを目的として開催いたします。特に、グローバル化の進展が著しい分野であるため、両国の情報ネットワーク、通信ネットワークの置かれた現状と、今後の課題を理解することは、情報通信全般の発展に大いに役立つものと考えています、奮って論文をお寄せ下さい。

- |      |                                                                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 程  | 平成5年11月10日(水)～12日(金)                                                                                                     |
| 会 場  | Maruay Garden Hotel (タイ・バンコク)                                                                                            |
| 共 催  | 電子情報通信学会(情報ネットワーク研究専門委員会, 交換システム研究専門委員会)<br>タイ王立工学会<br>国際機関アジア工科大学院                                                      |
| 協 賛  | アジア太平洋電気通信共同体                                                                                                            |
| テーマ  | ISDN, B-ISDN, LAN, MAN, TMN, プライベートネットワーク, グローバルネットワーク, 国際電気通信網, 無線ネットワーク, インテリジェントネットワーク, コンピュータ通信ネットワーク等               |
| 公用語  | 英語                                                                                                                       |
| 日 程  | 平成5年7月15日(木) 発表申込み締切<br>平成5年8月30日(月) 原稿締切<br>詳細は下記へお問合せ下さい                                                               |
| 問合せ先 | KDD研究所 OSI 通信グループ 鈴木 健二<br>356 上福岡市大原 2-1-15<br>Tel. (0492) 66-7360 Fax. (0492) 66-7510 E-mail: suzuki@osi.kddlabs.co.jp |

# Rengo 93

## 平成 5 年電気・情報関連学会連合大会の開催案内

——技術と人間との新しい調和を目指して——

本連合大会は電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、照明学会、テレビジョン学会が毎年共同して主催する大会で長い歴史がありますが、昨年から大幅な改革を行い、関連 5 学会の会員が共通して興味を持てるテーマあるいは学際的テーマを選び、新しい形の大会をめざしております。

本年は統一テーマとして「技術と人間との新しい調和を目指して」を掲げ、人間にやさしい技術、人間や自然から学ぶ技術の最新動向を下記の 5 つのテーマを中心として、それぞれの分野の第一線で御活躍の専門家が分かり易く講演致します。多数の学会員、また一般の方々の御参加をお待ち致しております。

会 期 平成 5 年 8 月 30 日(月)～31 日(火)

会 場 早稲田大学理工学部 (東京都新宿区大久保 3-4-1)

統一テーマ 技術と人間との新しい調和を目指して

特別講演 30 日(月) 午後 1 時 30 分～3 時 10 分

「地球と人間と科学技術」講師 西沢潤一 (東北大学学長)

日本学術会議 30 日(月) 午後 3 時 20 分～5 時 30 分

シンポジウム 「高度情報社会を展望した人材養成課題

—電子・通信・情報・電気工学の観点から— 座長 池田博昌 (NTT)

1. 通信産業構造の変化と人材養成 [総論を含む] ……講師 戸田 巖 (富士通)

2. 電子工学における人材養成

……………講師 小野雅敏 (電子技術総合研究所)

3. 情報工学における我が国の学術・産業の水準と人材養成

……………講師 安田靖彦 (早稲田大学)

4. 最近の電気系学生気質と大学教育、及び社会人教育

……………講師 家田正之 (愛知工業大学)

講 演 下記の 5 つのテーマに基づき、30 の講演が行われます。

講演日程は次頁の大会日程表を御参照下さい。

A. 通信のパーソナル化と社会環境

B. 21 世紀のエネルギーと電気を探る

C. 人と自然との調和を目指した情報処理

D. 人間生活と光関連放射

E. 情報記録の超高密度化に挑む

大会参加費 会員 2,000 円、学生 1,000 円、会員外 3,000 円

参加は当日も受け付けますが、下記の予約申込書でご予約いただきますと大会前にプログラムと参加章を送付致します。

講演論文集 オフセット印刷により講演論文集を出版し、予約販売および会場販売をします。

論文集予約については下記の予約案内を参照して下さい。

価格 全 1 冊 10,000 円 (ただし、大会参加の学生は 2,000 円)

懇 親 会 日 時 8 月 30 日(月) 午後 6 時～8 時

会 場 早稲田大学生協 理工カフェテリア

参加費 一般 4,000 円 学生 2,000 円

問 合 先 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 202

(社)電子情報通信学会 連合大会係 TEL 03(3433)6691 FAX 03(3433)6659

主 催 電子情報通信学会／電気学会／情報処理学会／照明学会／テレビジョン学会

## 平成5年電気・情報関連学会連合大会日程

| 会場   | 使用教室          | 8月30日(月) 午前      | 8月30日(月) 午後                  | 8月31日(火) 午前          | 8月31日(火) 午後         |
|------|---------------|------------------|------------------------------|----------------------|---------------------|
| 第1会場 | 57号館<br>201教室 | E. 情報記録の超高密度化に挑む | ● 特別講演<br>● 日本学術会議<br>シンポジウム | C. 人と自然との調和を目指した情報処理 |                     |
| 第2会場 | 57号館<br>202教室 | D. 人間生活と光関連放射    | —————                        | A. 通信のパーソナル化と社会環境    |                     |
| 第3会場 | 56号館<br>103教室 | —————            | —————                        | —————                | B. 21世紀のエネルギーと電気を探る |

大会および懇親会場の所在地  
東京都新宿区大久保3-4-1  
早稲田大学理工学部キャンパス

懇親会  
会場「カフェテリア」  
(大学構内)  
6時～8時

## 講演プログラム

## A. 通信のパーソナル化と社会環境

8月31日・10時～16時15分

講演 質疑  
時間 時間

座長 水澤純一 (NTT) 10分

- A-1. 社会環境経済環境からみた通信が果たすべき役割と期待  
……………水町守志 (東京大学) 25分
- A-2. 通信のパーソナル化を支えるネットワーク技術……………小川圭祐 (NTT) 25分
- A-3. プライベートライフおよび自然環境と通信のパーソナル化への期待  
……………守田直哉 (松下通信工業) 25分
- 質 疑 30分
- A-4. 通信のパーソナル化に求められるプライバシー・セキュリティ技術と現状……………松本 勉 (横浜国立大学) 25分
- A-5. 通信のパーソナル化を推進する耐電磁環境技術……………高木 相 (東北大学) 25分
- A-6. パーソナルメディアとしてのICカード……………牟田敏保 (NTT) 25分
- A-7. ビジネスライフにおける通信のパーソナル化の役割と期待  
……………高木浩一 (沖電気工業) 25分
- A-8. 通信のパーソナル化が開拓するビジネスマーケット  
……………中田義直 (日本AT&T) 25分

質 疑

40分

## B. 21世紀のエネルギーと電気を探る

8月31日・13時30分～17時

講演 質疑  
時間 時間

座長 上之園親佐 (京都大学) 5分

- B-1. 21世紀のエネルギー需給の展望……………上之園 博 (電力中央研究所) 30分

|           |                                 |     |
|-----------|---------------------------------|-----|
| B-2.      | 核燃料サイクルとその周辺……………鈴木篤之（東京大学）     | 30分 |
| B-3.      | 宇宙太陽発電所の構想……………伊藤精彦（北海道大学）      | 30分 |
| 休 憩 （10分） |                                 |     |
| B-4.      | 高密度都市への電力輸送……………沢田知義（東京電力）      | 30分 |
| B-5.      | 省エネルギーと電気利用……………柏木孝夫（東京農工大学）    | 30分 |
| B-6.      | 欧米における電力事情の動向……………飯沼芳樹（海外電力調査会） | 30分 |
|           | 総合討論                            | 15分 |

## C.人と自然との調和を目指した情報処理

8月31日・10時～16時

|                |                                                   | 講演<br>時間 | 質疑<br>時間 |
|----------------|---------------------------------------------------|----------|----------|
| 座長 村岡洋一（早稲田大学） |                                                   |          |          |
| C-1.           | Early Vision Chips ……………松本 隆（早稲田大学）               | 30分      | 5分       |
| C-2.           | 脳における情報処理……………熊沢逸夫（東京工業大学）                        | 30分      | 5分       |
| C-3.           | コンピュータビジョン—3次元シーンの理解—<br>……………横矢直和（奈良先端科学技術大学院大学） | 30分      | 5分       |
| C-4.           | リアルワールドコンピューティング……………古谷立美（新情報処理開発機構）              | 30分      | 5分       |
| C-5.           | 遺伝的アルゴリズム(GA)とその応用……………小長谷明彦（NEC）                 | 30分      | 5分       |
| C-6.           | コンピュータウイルスの現状と対策<br>……………岡本栄司（北陸先端科学技術大学院大学）      | 30分      | 5分       |
| C-7.           | 地球環境監視のための情報処理……………瀬戸洋一（日立製作所）                    | 30分      | 5分       |

## D.人間生活と光関連放射

8月30日・9時30分～12時30分

|                 |                                 | 講演<br>時間 | 質疑<br>時間 |
|-----------------|---------------------------------|----------|----------|
| 座長 沖 允人（足利工業大学） |                                 |          |          |
| D-1.            | 光と色の心理・生理……………池田光男（京都大学）        | 30分      |          |
| D-2.            | 計測用受光素子の現状と開発……………伊藤守行（浜松ホトニクス） | 40分      |          |
| D-3.            | 紫外・赤外放射環境と人間生活……………森田政明（松下電器）   | 40分      |          |
| D-4.            | 光放射環境と人・植物……………相賀一郎（大阪府立大学）     | 40分      |          |
|                 | 総括質問                            | 25分      |          |

## E.情報記録の超高密度化に挑む

8月30日・9時30分～12時30分

|              |                                     | 講演<br>時間 | 質疑<br>時間 |
|--------------|-------------------------------------|----------|----------|
| 座長 三浦義正（富士通） |                                     |          |          |
| E-1.         | デジタルVTRの現状と将来……………大場吉延（NHK）         | 30分      | 5分       |
| E-2.         | 磁気記録の高密度化……………法橋滋郎（ソニーマグネプロダクツ）     | 30分      | 5分       |
| E-3.         | 高密度光ディスク……………岩永敏明（NEC）              | 30分      | 5分       |
| E-4.         | 光化学ホールパーニングメモリの可能性……………村瀬至生（日立製作所）  | 30分      | 5分       |
| E-5.         | プローブ顕微鏡を用いた超高密度記録技術……………保坂純男（日立製作所） | 30分      | 5分       |

## 平成 5 年電気・情報関連学会連合大会 講演論文集および大会参加の予約募集

参加申込と講演論文集の予約募集を行いますので、参加を予定されている方は事前にご予約下さいますようお願い申し上げます。

参加をご予約頂きました方々へは、プログラムと参加章を出来上がり次第、お送り致します。また、参加予定の方が、講演論文集のご予約をされた場合には論文集引換券をお送りし、会場で講演論文集とお引換え致します。

下記の要領により予約受付を致しますので、お早めにお申込み下さいますようお願い申し上げます。

予約申込締切 平成 5 年 7 月 30 日（金）

申込先 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 202  
（社）電子情報通信学会 連合大会論文集予約係  
TEL 03-3433-6691, FAX 03-3433-6659

申込方法 送金方法によって若干異なります。

- (1) 現金書留で送金の場合
  - 予約申込書（コピーも可）を同封してお申込下さい。
- (2) 郵便振替で送金の場合
  - 局所定の用紙を利用、東京 2-35300 （社）電子情報通信学会宛
  - 振替用紙の通信欄に送金明細と送付先をご記入下さい。
  - 振替用紙は予約申込書にはなりませんので別途、予約申込書（コピーも可）を連合大会係宛郵送して下さい。
- (3) 銀行振込で送金の場合
  - 振込口座  
三菱銀行虎の門公務部〔普通 0000548〕, 富士銀行〔当座 6251〕,  
住友銀行〔当座 263046〕, 第一勧業銀行〔当座 0150595〕の各虎の門支店の  
（社）電子情報通信学会宛
  - 別途、予約申込書（コピーも可）を連合大会係宛郵送して下さい。
- (4) 学校、官公庁で所定の見積書、納品書、請求書などが必要な場合は申込時に関係書類を連合大会係宛お送り下さい。
- (5) 予約申込書が必要な方は上記の申込先まで御請求下さい。

平成5年電気・情報関連学会連合大会  
講演論文集ならびに大会参加予約申込書

予約申込締切日 7月30日（金）

|      |  |                            |
|------|--|----------------------------|
| ふりがな |  | 勤務先（送付先）<br><br><br>TEL（ ） |
| 氏 名  |  |                            |
| 所属学会 |  |                            |

該当する欄の□に✓印を記入して下さい。

| 予 約 受 付 |          | 金 額                              | 備 考                                    |
|---------|----------|----------------------------------|----------------------------------------|
| 大会参加費   | 会員       | <input type="checkbox"/> 2,000円  |                                        |
|         | 学生(大学院含) | <input type="checkbox"/> 1,000円  |                                        |
|         | 会員外      | <input type="checkbox"/> 3,000円  |                                        |
| 講演論文集   |          | <input type="checkbox"/> 10,000円 | <input type="checkbox"/> 会場での受取を希望     |
|         | 参加する学生のみ | <input type="checkbox"/> 2,000円  | <input type="checkbox"/> (大会終了後) 送付を希望 |
| 合計金額    |          | 円                                |                                        |

(講演論文集は消費税，送料込み)

平成5年 月 日  
上記のとおり予約致します。

1. 代金は☐現金〔現金書留〕，☐郵便振替，☐銀行振込（該当に✓印） 送金月日 月 日
2. 請求書 通，納品書 通，見積書 通が必要です。  
(所定用紙があればお送り下さい。)
3. ご担当者名 TEL (内線 )
4. 申込先 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 202  
(社)電子情報通信学会 連合大会論文集予約係  
TEL 03-3433-6691, FAX 03-3433-6659

..... (切り離さないで下さい) .....

(送付・送本先)〔楷書でハッキリお書き下さい。〕

〒

氏名 様 TEL

会  
告

## 支 部 だ よ り

## 北海道支部

## 北海道支部大会講演募集

——平成5年度電気関係学会北海道支部連合大会——

- 期 日** 平成5年10月16日(土), 17日(日)
- 会 場** 北海道大学工学部(札幌市北区北13条西8丁目)
- 特別講演** 放電研究の最近の動向—ガス絶縁からプラズマプロセスまで 田頭 博昭(北大)
- 一般講演** 講演者: 主催学会の会員に限る(当支部所属に限らない)  
講演内容: 最近行なった研究および調査の報告, 新しい企画および工事等の報告, 新製品の紹介など,  
講演時間: 1件15分(質疑応答時間を含む).  
ただし, 都合により短縮することがある.  
講演予稿: オフセット印刷による. 所定の様式に従い, ワープロにて作成すること. 図面, 写真を含めてA4サイズ1ページ(A形式 約1600字)または2ページ(B形式 約3400字).  
講演者には講演論文集, 講演論文別刷30部を進程する.  
有料別刷は取扱わない.  
申込方法: 申し出により講演申込書と原稿作成要領を交付する.  
申 込 先: 下記の原稿提出先に同じ.
- 講演参加費** 1件につき, A形式3,500円, B形式6,000円.
- 大会参加費** 一般3,500円(講演論文集代を含む). 学生1,000円(講演論文集代を含まず). なお講演参加費を払った者は不要.

## 原稿提出締切日

平成5年8月6日(金)午後5時必着(講演申込書および原稿に講演参加費を添えて提出すること).

## 原稿提出先 060 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学部電気工学科事務室

電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局

Tel. (011)716-2111 (ex. 6857) 清水 Fax 011-757-2485

## 懇 親 会 平成5年10月16日(土)18時～

場所: 北海道大学クラーク会館

会費: 4000円(学生2000円)当日受付.

## 主 催 情報処理学会・電子情報通信学会・電気学会・テレビジョン学会・照明学会各北海道支部

## 東海支部

## 平成5年度電気関係学会東海支部連合大会講演募集案内

——原稿提出期限 8月10日(火)午後5時厳守——

## (1) 大会の概要

- 期 日** 平成5年10月1日(金), 2日(土)
- 会 場** 信州大学工学部(長野市若里500)
- 特別講演** 日時・場所 10月1日(金)午後 信州大学工学部  
ミリ波天文学の進展 石黒 正人(国立天文台野辺山宇宙電波観測所)

## シンポジウム(依頼)

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| (1) 太陽・風力発電システム—本格的導入に向けた新たな開発動向 | 座長 榊原 建樹(豊技大)                 |
| (2) 最新リニアドライブの研究・技術動向            | 座長 { 山田 一(信州大)<br>荻田 充二(神鋼電機) |
| (3) 高速情報ネットワークの現状と発展動向           | 座長 田坂 修二(名工大)                 |
| (4) マグネティックスの最近の発展               | 座長 毛利佳年雄(名大)                  |
| (5) AIにおける問題解決技術の新展開             | 座長 伊藤 英則(名工大)                 |
| (6) 低品質画像のための画像処理(仮題)            | 座長 中野 康明(信州大)                 |

## 一般講演 (公募)

**懇親会** 日時・場所 10月1日(金) 夕刻 信州大学工学部 生協ホール

## (2) 講演申込要領および一般参加要領

- 一般講演** (1) 講演発表者は原則として主催学会会員に限る。また、講演は一人一件に限る。ただし、複数の応募論文に共著者として参加することは差し支えない。
- (2) 最近の研究、計画および工事計画、現場試験、新製品の紹介等で未発表のもの。ただし、内容の類似したものが数件にわたることは認めない。実行委員会で不適当と認めた論文は、掲載ならびに講演を断わることがある。また、講演論文は、原則として和文とするが、英文も認める。
- (3) 講演時間は1件あたり発表10分プラス質問時間とする。会場にはOHPのみを用意する。他の機器が必要の方は各自ご用意下さい。

**講演申込** 講演申込書、原稿は名古屋大学工学部電気系教室あて、8月10日(火)午後5時までに必着のこと。ただし、講演原稿は返却しない。なお、プログラム送付(開催日の1週間前頃)以前に講演日等(午前、午後の別)を確認したい方は官製ハガキに宛先、希望発表部門、講演題目を記入のうえ、講演申込書に添えること。

また、原稿用紙(A4横サイズ1枚、論文集はA4縦サイズとし1論文刷り上がり1/2ページ)、講演申込書および原稿記載要領は名古屋大学工学部電気系教室あてに請求のこと。郵送希望者は、5cm×10cm程度の用紙に宛先を記入し、返信用切手(1件120円、2件175円、3～7件250円、8件以上15件まで360円)を同封する。電話等による請求には応じない。

**講演参加費** 1件につき2,500円を講演申込と同時に郵便振替(口座番号 名古屋 1-107697 情報処理学会東海支部)にて振込むこと。講演者には事前にプログラム・参加章および論文集引換券を送付し、論文集は当日渡す。ただし、別刷の申込には応じない。

**一般参加費** 講演者以外の方は、参加費(正員700円、准員300円、会員外1,000円、学生無料)を当日受付で支払い、参加章を受け取る。ただし、論文集購入者は参加費不要。

**論文集の予約** 代金2,500円を添えて8月31日(火)までに下記実行委員会事務局へ申込みのこと。事前に引換券を送付し、論文集は当日渡す。郵送希望者は、1冊につき送料510円を加えて送金のこと。発送は大会終了後となる。

- (3) **懇親会申込** 参加者は、当日大会受付で参加費を添えて申込みのこと。  
参加費 一般3,000円 学生1,500円
- (4) **奨励賞** 発表当日35才以下の方で特に優秀な論文発表者に贈呈する。  
審査希望者は指定の奨励賞審査申込書を講演申込時に添え申込みのこと。
- (5) **宿泊交通案内** 下記業者にお申込下さい。  
なお、地域事情もあり宿泊予約は9月10日(金)までお願いします。  
近畿日本ツーリスト(株)長野支店 担当:羽鳥  
Tel. (0262)27-7112 Fax (0262) 24-3728

※原稿用紙請求先および講演申込先と、講演参加費の振込先が異なるので、注意のこと。

講演申込先および原稿用紙請求先

464-01 名古屋市中千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室 Tel. (052) 781-2222

講演参加費振込先

郵便振替 口座 名古屋 1-107697 情報処理学会東海支部 Tel. (052) 204-4517

《実行委員会事務局》

460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. (052) 204-4517

主催 電気学会・電子情報通信学会・照明学会・テレビジョン学会・日本音響学会・情報処理学会各東海支部

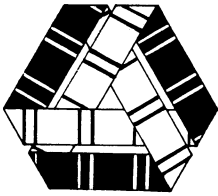
## 関西支部 数値解析研究会講演会

日 時 平成5年7月1日(木) 14:00~17:00  
 会 場 (財)関西情報センター 会議室  
 大阪市北区梅田 1-3-1-800, 大阪駅前第1ビル8階  
 演 題 (1)「応用力学, 計算力学とともに歩んだ30年」 川井 忠彦(東京理科大学)  
 (2)「パターンダイナミクスのコンピュータ支援解析について」 三村 昌泰(広島大)  
 参 加 費 無料  
 問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. (06) 346-2543

## 九州支部 電気関係学会九州支部第46回連合大会講演募集

期 日 平成5年10月1日(金), 2日(土)  
 会 場 811-02 鹿児島大学教養部 鹿児島市郡元 1-21-40  
 講 演 者 主催学会会員に限る(当支部所属に限らない)  
 講演内容 最近行った研究, 計画および工事報告, 現地試験報告, 新製品の紹介など.  
 講演方法 (イ) 1件10分以内, ただし都合で多少短縮することがある. なお, 講演募集の結果によっては然るべき件数を選択してシンポジウム形式の講演とすることがある.  
 (ロ) OHPによる講演を原則とする. スライドの使用は不可.  
 講演申込 (イ) 原稿はかならず当会所定の「原稿用紙」を使用すること.(オフセット印刷, 図面・表を含む  
 方 法 1頁とする)  
 (ロ) 「原稿用紙」「講演申込書」は申し出により交付.  
 「原稿用紙」等: 1部 100円  
 郵送の場合は, 1部250円, 2部以上のときは1部増すごとに150円増の郵便切手を送付のこと.  
 (ハ) 締切日: 8月20日(金) 午後5時  
 「原稿」「講演申込書」は締切日までに必着のこと.  
 講演申込費 講演1件につき3,000円(講演者には論文集を1部大会当日受付にて贈呈する. 別刷りの申込には応じない)  
 申 込 先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部電気工学教室 電気関係学会九州支部連合会  
 Tel. (092) 641-1101 (ext. 5300)  
 (振替口座番号 福岡 8-33001) 加入者名 電気関係学会九州支部連合会  
 主 催 電気関係学会九州支部連合会  
 (電気学会・電子情報通信学会・テレビジョン学会・照明学会 情報処理学会 各九州支部)

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*:本年既掲載分, \*\*:昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1.開催日, 2.場所, 3.問合せ先, 4.その他

### 国際会議

#### 高性能計算におけるベンチマークと性能評価に関するワークショップ (026)

1. 1993 年 7 月 23 日 (金)
2. 早稲田大学国際会議場
3. HPC 研究会主査 (株)東芝半導体システム技術センター T2S 福井 義成  
Tel. (044) 548-2782, Fax. (044) 548-8985

#### WISR' 6-6 th IEEE Annual Workshop on Software Reuse (027)

1. 1993 年 11 月 2 日～4 日
2. Owego, New York, USA
3. 日本電気(株)C&C ソフトウェア開発グループ 松本 正雄  
Tel. (03) 5476-1090, Fax. (03) 5476-1095,  
Internet: matumoto@ccs.mt.nec.co.jp
4. 論文送付先 (e-mail での送付が望ましい):  
Jeff Poulin, IBM Federal Systems Company, MD 0220,  
Owego, NY 13827-1290, USA  
Tel. (607) 751-5649/4632, e-mail: poulinj@vnet.ibm.com  
論文締切: 1993 年 7 月 15 日

#### 通信・放送機構第 1 回国際シンポジウム (立体動画像通信技術) (028)

1. 1993 年 12 月 6 日 (月)～7 日 (火)
2. 郵政省飯倉分館 (東京都港区麻布台)
3. 通信・放送機構 研究推進部  
Tel. (03) 3769-6810, Fax. (03) 5441-7584
4. 参加費:無料

#### The 1994 European Design and Test Conf. (029)

1. February 28-March 3, 1994
2. Paris
3. CEP Consultants Ltd.; 26-28 Albany Street, EDINBURGH EH1 3QH, UK  
Tel. +44 31 557 2478, Fax. +44 31 557 5749
4. Deadlines of Submission of manuscript: September 3, 1993

#### IFIP SEC' 94-10 th Int'l. Information Security Conf. (030)

1. May 23-27, 1994
2. Aruba, Dutch Caribbean
3. IFIP SEC' 94 Secretariat:  
Postoffice Box 1555, 6201 BN Maastricht, The Netherlands  
Tel. +31 (0)43 61 8989, Fax. +31 (0)43 61 9449, Internet email: TC11@CIPHER.NL
4. Full papers due: August 31, 1993

#### INTERACT' 95 (031)

1. June 29-July 1, 1995
2. Lillehammer, Norway
3. INTERACT' 95 c/o Norwegian Computer Society, P.O.Box 6714-Rodelokka, N-0503 Oslo, Norway  
Tel. +47 22 37 02 13, Fax. +47 22 35 46 69

#### APORS' 94-第 3 回 APORS 国際会議 (032)

1. 1994 年 7 月 26 日 (火)～29 日 (金)
2. 福岡リーセントホテル
3. (株)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
Tel. (03) 3815-3351
4. Submission of abstract: December 17, 1993

#### IIZUKA' 94-第 3 回ファジィ論理, 神経ネットワーク及びソフトコンピューティングに関する国際会議 (033)

1. 1994 年 8 月 1 日～7 日
2. 福岡県飯塚市
3. (株)ファジィシステム研究所  
Tel. (0948) 24-2771, Fax. (0948) 24-3002
4. Submission of a camera-ready paper: March 31, 1994

### 国内会議

#### 講習会「遺伝的アルゴリズムとその応用」

1. 平成 5 年 6 月 1 日 (火)
2. 明治大学百周年記念会館
3. 日本ファジィ学会事務局  
Tel. (045) 212-8253, Fax. (045) 212-8256
4. 参加費: 会員 20,000 円, 学生会員 7,000 円, 非会員 30,000 円

#### 第 3 回設計工学・システム部門講演会

1. 平成 5 年 6 月 16 日 (水)～17 日 (木)
2. 東京理科大学 (新宿区神楽坂)
3. (株)日本機械学会 設計工学・システム部門  
Tel. (03) 3379-6781, Fax. (03) 3379-0934
4. 参加費: 会員 3,000 円, 学生会員無料, 非会員 5,000 円

#### ロボティクス・メカトロニクス講演会'93-生物に学ぶ機械システム

1. 平成 5 年 7 月 6 日 (火)～7 日 (水)
2. 北海道大学学術交流会館 (札幌市北区)
3. (株)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門  
Tel. (03) 3379-6781, Fax. (03) 3379-0934
4. 参加費: 会員 4,000 円, 学生無料, 非会員 8,000 円

#### 講習会「ファジィ理論の基礎」

1. 平成 5 年 7 月 12 日 (月)～13 日 (火)

2. 東京工業大学百年記念館 (目黒区大岡山)
3. 日本ファジィ学会事務局  
Tel. (045) 212-8253, Fax. (045) 212-8256
4. 参加費: 会員 30,000 円, 学生会員 10,000 円, 非会員 40,000 円

### 講習会「デザインのためのファジィ」

1. 平成 5 年 7 月 23 日 (金)
2. 明治大学駿河台校舎
3. 日本ファジィ学会事務局  
Tel. (045) 212-8253, Fax. (045) 212-8256
4. 参加費: 会員 20,000 円, 学生会員 7,000 円, 非会員 30,000 円

### 第 21 回 Japan SIGAda

1. 平成 5 年 7 月 28 日 (水)
2. 機械振興会館 (東京都港区芝公園)
3. Japan SIGAda 運営委員会 NTT ソフトウェア研究所  
田中 清 Tel. (03) 3740-5719

### 電気学会電力・エネルギー部門平成 5 年大会

1. 平成 5 年 7 月 28 日 (水) ~ 30 日 (金)
2. 北海道大学工学部 (札幌市北区)
3. ㈱電気学会 電力・エネルギー部門大会係  
Tel. (03) 3201-0983
4. 参加費: 会員 10,000 円, 学生会員 5,000 円, 非会員 15,000 円

### 第 30 回記念サマーセミナー「21 世紀を担う新しい光学の基礎技術」

1. 平成 5 年 8 月 25 日 (水) ~ 27 日 (金)
2. 山王閣 (長野県諏訪郡下諏訪町)
3. ㈱応用物理学会内 日本光学会セミナー係  
Tel. (03) 3238-1043
4. 参加費: 会員 31,000 円, 学生 10,000 円, 非会員 33,000 円

### システム制御情報イブニングスクールチュートリアル講座「アドバンスト制御の基礎」

1. 平成 5 年 9 月 7 日 (火), 10 日 (金), 14 日 (火), 21 日 (火), 24 日 (金)
2. 大阪マーチャンダイズマートビル (大阪市中央区大手前)
3. システム制御情報学会  
Tel. (075) 751-6413, Fax. (075) 751-6037
4. 聴講料: 会員 30,000 円, 学生 20,000 円, 非会員 40,000 円

### 教育講座「LSI・CAD コース」

1. 平成 5 年 9 月 21 日 (火), 28 日 (火), 10 月 5 日 (火), 12 日 (火), 19 日 (火), 26 日 (火), 11 月 4 日 (木), 9 日 (火)
2. KSP 西棟 (川崎市高津区坂戸)
3. 勸神奈川科学技術アカデミー 教育部教育研修科  
Tel. (044) 819-2033, Fax. (044) 819-2026
4. 受講料: 80,000 円

## 教官募集



### ○大学等情報関係教官募集

- 小樽商科大学社会情報学科**
- 募集人員 助教授または講師 2 名
- 担当科目 ソフトウェア科学, 情報システム, 教育情報論のいずれか
- 専門分野 情報関連分野
- 所属学科 小樽商科大学商学部社会情報学科
- 応募資格 大学院博士課程修了者またはそれと同等以上の研究業績もしくは職務経験のある者。原則として、採用時に 35 歳以下
- 着任時期 平成 5 年 10 月 1 日または平成 6 年 4 月 1 日
- 応募締切 平成 5 年 7 月 15 日
- 必要書類 ①履歴書, ②業績抜刷等, ③研究業績書 (書式様式がありますので, ご連絡ください), ④学部, 大学院の卒業及び修了証明書並びに成績証明書, ⑤現在大学院在学中の場合は指導教官の推薦書。
- 送付先 047 小樽市緑 3 丁目 5-2 小樽商科大学長  
「社会と情報講座担当教官応募書類」と朱書き, 書留。
- 問合せ先 庶務課人事係  
Tel. (0134) 23-1101 (ext.505)

### 東京大学教養学部

- 募集人員 教養学部教授 (情報処理教育担当) 1 名
- 応募資格 情報科学・情報工学の研究者で十分な研究能力のある者。
- 担当業務 前期 (教養) 課程の情報処理教育。当学部の後期課程の基礎科学科第二 (システム基礎科学) および大学院における教育と研究指導, 情報関連の組織とシステムの運営・整備・立案。
- 採用時期 平成 5 年 10 月 1 日以降なるべく早い時期
- 応募締切 平成 5 年 7 月 15 日
- 問合せ先 153 東京都目黒区駒場 3-8-1  
東京大学教養学部情報・図形科学教室 川合 慧  
Tel. (03) 3467-1171 (ext.444) (応募書類を送付します。要返信用封筒)

### 大阪工業大学工学部

- 募集人員 ①助教授または講師 3 名, ②教授 1 名, ③~⑥各専攻分野助教授または講師 1 名
- 所属学科 ①電子工学科, ②~⑥経営工学科
- 専門分野 ①情報工学・通信工学・制御工学, ②知能情報工学または知的生産システム, ③ヒューマンシステムまたは認知科学, ④生産システム工学, ⑤経営管理または生産管理, ⑥情報工学または統計数理解析
- 応募資格 ①工学の博士の学位を有し 40 歳以下の者, ② 50 歳までの博士の学位を有する者, 情報工学および経営工学分野で顕著な業績を有する者, 博士後期課程担当可能な者, ③ 40 歳までの博士の学位を有する者, ヒューマンシステム分野で業績を有する者④~⑥ 40 歳までの博士の学位を有する者, 経営

工学分野で業績を有する者。  
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、業績書、著書・論文（主要なもの 3 点以内、コピー可）（履歴書、業績書については本学所定の用紙使用）  
 応募締切 平成 5 年 7 月 16 日  
 送付先 535 大阪市旭区大宮 5-16-1  
 問合せ先 大阪工業大学庶務課  
 Tel. (06) 952-3131 (ext.3052)

#### 福岡教育大学数学科

募集人員 助教授または講師 1 名  
 所 属 数理情報講座  
 担当科目 主として計算機、情報関係の講義および実習（プログラム言語、情報理論の基礎等）。  
 応募資格 大学院修士課程修了またはこれに準ずる者（博士の学位を有することが望ましい）で、採用時に 40 歳以下の者。  
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、業績書、業績の別刷、健康診断書、最終学校卒業証明書、推薦書（本学所定の用紙使用）  
 応募締切 平成 5 年 7 月 23 日  
 送付先 811-41 宗像市赤間 729 福岡教育大学長  
 問合せ先 Tel. (0940) 35-1338（数理情報講座）または、  
 Tel. (0940) 35-1205（人事第一係）

#### 小松短期大学産業情報科

募集人員 助教授または専任講師 1 名  
 専門分野 情報工学またはその関連分野  
 担当科目 プログラミングの講義・演習およびコンピュータ・システムの管理  
 応募資格 理工系大学院修士課程修了者およびこれと同等の者で小松周辺に居住できる者。（年齢 35 歳以下が望ましい。）  
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文の別刷（コピー可）。  
 応募締切 平成 5 年 7 月 24 日  
 送付先 923 小松市四丁町ヌ 1-3  
 小松短期大学庶務課  
 問合せ先 小松短期大学産業情報科 稲場日出男  
 Tel. (0761) 44-3500 (ext.53)  
 Fax. (0761) 44-3506

#### 木更津工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授 1 名、助教授または講師 1 名、助手 1 名  
 専門分野 情報処理、計算機工学およびこれらの関連分野  
 担当科目 教授：人工知能、計算機科学またはソフトウェア工学、データ工学。助教授、講師：ソフトウェア工学、データ工学または人工知能、計算機科学、助手：情報工学に関する実験・実習。  
 応募資格 教授：計算機工学関連の研究・開発に携わったことがあり、博士の学位を有する者または相当の業績を有する者。助教授、講師：ソフトウェア工学、データ工学関連の研究・開発に携わったことがあり、相当の業績を有する者。博士の学位を有することが望ましい。助手：修士課程修了者または学部卒業者（平成 6 年卒業見込者可）。  
 採用予定 平成 6 年 4 月 1 日  
 応募締切 教授、助教授または講師：平成 5 年 8 月 31 日  
 助手：平成 5 年 7 月 31 日  
 提出書類 履歴書、研究業績一覧、推薦書、著書・論文等の別刷（各 1 部）。（履歴書、研究業績については本学所定の用紙使用）  
 送付先 292 木更津市清見台東 2-11-1

木更津工業高等専門学校人事係  
 Tel. (0438) 98-5751 (ext.213)

#### 鳥取大学工学部知能情報工学科

募集人員 教授 1 名  
 専門分野 計算機工学または計算機科学  
 応募資格 博士の学位を有し、年齢 45 歳から 55 歳ぐらいで、博士課程を担当できる者。  
 着任時期 早いほど望ましい。  
 提出書類 履歴書、研究業績表、健康診断書  
 応募締切 平成 5 年 7 月末日  
 送付先 680 鳥取市湖山町南 4-101  
 問合せ先 鳥取大学工学部知能情報工学科主任 菅田一博  
 Tel. (0857) 28-0321 (ext.4640)

#### 成蹊大学工学部

募集人員 教授、助教授、講師のいずれか。  
 所 属 工学部経営工学科および大学院工学研究科情報処理専攻  
 専門分野 情報工学（細かい分野は指定しないが、現在のスタッフとの関係で優先される分野あり）。  
 応募資格 博士の学位を有し、相当程度の研究教育業績があること。ただし、平成 6 年 3 月までに博士学位取得見込者も指導教授の保証書があれば応募可。  
 採用予定 平成 6 年 4 月 1 日（希望によりそれ以前も可）。  
 応募締切 平成 5 年 8 月 31 日  
 送付先 180 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1  
 問合せ先 成蹊大学工学部経営工学科主任教授 飯塚 肇  
 Tel. (0422) 37-3766 Fax. (0422) 37-3869  
 e-mail: iizuka@is.seikei.ac.jp  
 または同大学院工学研究科情報処理専攻主任教授 飯田義久  
 Tel. (0422) 37-3761 Fax. (0422) 37-3869  
 e-mail: iida@is.seikei.ac.jp  
 （あらかじめ問合せの上送付のこと）。

#### 広島大学総合情報処理センター

募集人員 助手 1 名  
 所 属 総合情報処理センター  
 専門分野 情報科学、情報工学（学内ネットワークの管理および研究開発）  
 応募資格 修士課程修了以上またはそれに準ずる者。  
 着任時期 平成 5 年 11 月 1 日以降なるべく早い時期  
 提出書類 履歴書、研究業績一覧、応募にあたっての抱負（1000 字程度）、論文・資料（別刷等各 1 部）、本人について所見を求めうる人の氏名、連絡先等（2 名）。  
 応募締切 平成 5 年 9 月 1 日  
 送付先 734 広島市鏡山 1-4-2  
 問合せ先 広島大学総合情報処理センター長 今村詮  
 Tel. (0824) 24-6253（ダイヤルイン）

#### 山形大学工学部電子情報工学科

募集人員 教授 1 名  
 所 属 情報システム大講座  
 専門分野 電子回路システム、電子通信システム、知能システム、知能ロボット、マシンビジョン、CG、CAD、ヒューマンインタフェース等の関連分野。  
 応募資格 博士の学位を有し、研究業績があり、教育・研究に熱意のある者。  
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷またはコピー、所属学会、推薦書（または本人についての所見を求めうる人の氏名、連絡先）。  
 応募締切 平成 5 年 9 月 10 日  
 送付先 992 米沢市城南 4-3-16  
 問合せ先 山形大学工学部電子情報工学科主任教授

小林邦勝 Tel. (0238) 22-5181 (ext.315)

Fax. (0238) 24-2752

**東邦大学理学部情報科学科**

募集人員 ①教授または助教授1名, ②教授1名, ③助教授または講師1名

専門分野 ①計算機科学 (OS, アーキテクチャ, データベース, プログラム言語, ネットワーク, AI 等), ②制御理論, システム理論, ③通信またはシステムに関する基礎理論

応募資格 理学または工学博士の学位を有する者。

着任時期 平成6年4月1日までの随時

提出書類 履歴書, 研究業績リストおよび主要論文別刷

応募締切 平成5年9月15日

送付先 274 船橋市三山 2-2-1

問合せ先 東邦大学理学部情報科学科主任 山本照二

Tel. (0474) 72-8042 Fax. (0474) 75-1855

**山梨大学工学部電子情報工学科**

募集人員 2名 (教授もしくは助教授)

専門分野 数理情報および計算機科学関連分野

担当科目 情報処理基礎教育科目, 情報数学, 統計, アルゴリズム, 計算機アーキテクチャ, OS, プログラミング言語, データベースの中から3科目程度の講義および関連実験・演習

応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士後期課程の研究指導ができる者。性別, 国籍は問わない。

着任時期 平成6年4月1日

提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 研究計画書, 推薦状 (もしくは所見を求めることのできる人の連絡先)。

応募締切 平成5年9月30日

送付先 400 甲府市武田 4 丁目

問合せ先 山梨大学工学部電子情報工学科教授 山崎清明

「教官応募書類」と朱書き書留。

Tel. (0552) 52-1111 (ext.5277)

Fax. (0552) 54-3171

**雑報****○IEEE CAS 東京支部講演会**

— 21 世紀へ向けての並列処理プロセッサ —

日時 1993 年 7 月 2 日 (金) 13:00~17:00

場所 上智大学図書館 9 階  
(千代田区紀尾井町 7-1, JR 四谷駅下車, 麴町出口より徒歩 2 分)**演題**

- (1) 並列処理プロセッサ技術の動向と展望  
— 並列画像処理プロセッサ — 小野 定康 (NTT)
- (2) 289 MFLOPS 1 チップベクトル演算プロセッサ  
高橋 宏政 (富士通)
- (3) 120 MHBicoMS スーパースカラ型 RISC プロセッサ  
田中 成弥 (日立)
- (4) 高位論理合成システム PARTHENON によるプロセッサ設計  
中村 行宏 (NTT)

聴講料 一般参加 5,000 円

学生参加 1,000 円 定員 100 名

連絡先 田中 衛 (上智大学理工学部電気電子工学科  
Tel. (03) 3238-3878, Fax. (03) 3238-3321,  
e-mail: tanaka@mamoru.ee.sophia.ac.jp) または  
マイクロエレクトロニクス研究開発機構事務局  
(東京電機大学工学部電気工学科本館 402 号室,  
Tel. and Fax. (03) 5280-3307,  
Tel. ダイアル (03) 5280-3281)

主催 マイクロエレクトロニクス研究開発機構

共催 IEEE CAS 東京支部

**○北陸先端科学技術大学院大学入学者募集**

情報科学研究科 (博士前期課程)・材料科学研究科 (博士前期課程)

北陸先端科学技術大学院大学は, 情報科学, 材料科学の先端的な科学技術分野における教育研究を行う国立の独立大学院 (学部を持たない大学院のみの大学) として平成 2 年 10 月に設置されました。本学を核とした「いしかわサイエンスパーク」の形成が進められており, 高度のインテリジェントキャンパスが国際水準の研究活動, 新しい大学院教育を提供しております。最先端の教育機器。学生 1 人 1 台のワークステーション。支援財団による教育研究助成。国際的に誇れる若き教授陣。世紀の先端科学技術分野のリーダーとなる意欲あふれる人々の入学を期待します。

- ・出身学部学科に制限なく, あらゆる分野の大学卒業者を受け入れます。
- ・リフレッシュ教育を希望する社会人を積極的に受け入れます。
- ・大学学部 3 年以上在学の優秀な者, 優れた留学生も受け入れます。
- ・企業等から推薦・派遣される社会人は, 特別選抜をします。
- ・選抜日程  
第 1 回 平成 5 年 7 月 31 日 (土)~8 月 1 日 (日)  
第 2 回 平成 5 年 10 月 16 日 (土)~10 月 17 日 (日)  
第 3 回 平成 6 年 1 月 29 日 (土)~1 月 31 日 (日)

\*入学者の選抜は, 小論文提出により面接を主体として行います。

- ・出願期間  
第 1 回 平成 5 年 7 月 5 日 (月)~7 月 9 日 (金)  
第 2 回 平成 5 年 9 月 20 日 (月)~9 月 24 日 (金)  
第 3 回 平成 6 年 1 月 5 日 (水)~1 月 10 日 (月)

・入学定員 (前期課程)  
情報科学研究科 (情報処理学専攻・情報システム学専攻) 125 人

材料科学研究科 (物性科学専攻・機能科学専攻) 125 人

・博士後期課程学生の受入れ

平成 6 年度から情報科学研究科博士後期課程 (入学定員 37 人) の学生受入れを行います。入学を希望する場合は, 照会してください。

☆ 学生募集要項等の郵送をする場合は, 380 円相当の郵便切手と送付先を明記した紙片を同封のうえ, 次へ請求してください。

923-12 石川県能美郡辰口町旭台 15

北陸先端科学技術大学院大学 研究協力部 学生課

Tel. (0761) 51-1179